

# 黎明 NO. 86



岩手県土地家屋調査士会々報



# 土地家屋調査士倫理綱領

## 1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、  
国民の信頼に応える。

## 2. 公 正

品位と保持し、公正な立場で  
誠実に業務を行う。

## 3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

---

表紙の写真について

### 『祝・御所野遺跡』 上田 穰（花巻支部）

2021（令和3）年7月22日、北海道・北東北の縄文遺跡群が「世界文化遺産」に登録されたということで、まずは岩手県で唯一の登録となった一戸町の「御所野遺跡」に行ってきました。

「御所野縄文公園」と「御所野博物館」はとても見応えがあり感動ものでした。会員の皆さんもぜひ行ってみましょう。

# 目 次

「今思うこと、考えること」	会 長 小笠原 寿 男	1
「盛岡地方法務局における各種施策の実施状況について」		
	盛岡地方法務局長 星 野 辰 守	3
令和2年度受賞者名簿		6
令和3年度受賞者名簿		7
「令和3年度境界問題相談センターいわて活動報告」		
	境界問題相談センターいわて センター長 永 野 智 之	8
「政連活動と復興の実感」		
	岩手県土地家屋調査士政治連盟 会 長 高 橋 宏 二	10
「協会事業について」		
	公益社団法人岩手県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 理事長 佐 藤 吉 和	12
「はい、一緒に「コロナウイルスのバカヤロー！」」		
	岩手青調会 会 長 佐々木 敦 之	14
特別企画		
	岩手県土地家屋調査士会会長×岩手県司法書士会会長対談	
	会 長 小笠原寿男、会 長 小山田泰彦	16
支部より		
「ニューノーマル」	盛岡支部 葛 卷 弘 志	23
「自然の魅力と我が家」	花巻支部 渡 邊 典 史	25
「地域の魅力（胆江地区・温泉サウナ編）」	水沢支部 八 幡 吉 充	27
「一関・平泉の隠れた魅力」	一関支部 三 浦 義 則	29
「ヴィバ鉄道！妄想トレインのすすめ」	沿岸支部 澤 口 雅 友	32
「昔を思う（続き）」	県北支部 古 山 敬	36
寄稿		
「盛岡支部総会は八幡町通の「さわだや」であった」	盛岡支部 小笠原 九二男	38
「負の遺産？」	花巻支部 高 橋 義 信	39
2021年度 常任理事・理事者の紹介		41
新入会員の紹介	鈴木 史章・渡邊 寛	45
	菊池 貴也・阿部 修	46
	倉澤 康行・日下 雅広	47
	小原祐太朗・早野 亮輔	48
	佐藤 亮介・志田 有宏	49
	宮原 瞬・内沢 達也	50
	菊池 慶介	51
過去10年間の会員の異動状況（会員数並びに入会者・退会者）		52
無料登記相談会の報告		53
地識くんいわて		55
編集後記（部員）		70
スポンサー広告		71





## 「今思うこと、考えること」

岩手県土地家屋調査士会 会長 小笠原 寿 男

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年の5月に会長に就任してから早いものでもう7ヶ月が経過しました。平成13年に岩手県土地家屋調査士会に入会し今年で土地家屋調査士として22年目を迎えようとしています。平成15年から岩手会の委員（IT、広報、研修）をやらせていただき、平成21年からは岩手会理事となり、その後部長や東北ブロックの事務局長そして昨年度まで副会長を務めさせていただいた訳ですが、今までにはない責任感のもと初めての役職に奮闘しております。会員の皆様からはご指導ご協力の下、会の運営をさせて頂いており、大変感謝しております。また未熟な私を支えて頂いております役員の皆様には感謝と、今後共に会員のために汗をかいて頑張ってくださいよう宜しくお願い致します。

これから私が日頃思うこと、考えることを書いていきたいと思えます。

### ・コロナ禍で

一昨年1月に日本において第1例目のコロナ患者が確認されて以来この2年間、新型コロナウイルス感染症という未知の感染症に日本そして世界の経済・社会は大きな打撃を受けました。特に対面型サービス業を中心に観光・飲食業など厳しい状況を強いられました。この間、新型コロナウイルス感染症に最前線に対応された医療従事者の皆様には敬意と感謝

が絶えません。この原稿を書いている時点では盛岡市のコロナ感染者数は1ヶ月以上ゼロ人の状況で、岩手県内もほぼ同じ状況で、皆様がこの黎明を読んでいる年末年始も同じ状況が続き、家族・親戚が笑顔で同じ食卓を囲んでいることを願っています。私の子供は長女が横浜に就職し、長男は大学が東京で、一昨年の正月から2年弱、盛岡に帰省出来ませんでした。看護師である妻の勤める病院から県外家族の帰省の許可があり、11月初めに数日間帰省しました。年末年始にはまた会えるからと盛岡駅で見送りましたがどうなったのでしょうか。

岩手会としてのこの約2年間は、世の中と同じく未知なる感染症への対応に右往左往しましたが、人命優先を心がけてきました。その結果、事業計画通り進めることが出来ず、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。このような状況下からの必然性で、オンライン会議、オンライン研修に取り組んできた訳ですが、最初は思うように出来ず四苦八苦しりましたが、最近はどうにか活用できるまでになりました。このことは県の面積が広大な岩手県には大変メリットがあります。会場までの長時間の移動の負担や冬場の峠越えなどの心配も無くなります。また役員会の交通費を削減する効果もあります。オンライン会議は最初ギクシャクしていましたが、今ではだいぶ対面型の会議に近い雰囲気が出ています。オンライン会議、オンライ

ン研修を行いそのメリットを実感しましたが、集合・対面する事の大事さも同時に感じました。画面では伝わらない相手の気持ちや求めていることを細やかにくみとる。同じ空間に居なければ伝わらない言葉以外の情報の共有。それらが信頼関係を構築し、連携へと繋がっていくのだと思います。今のコロナ禍そしてコロナが終息した後もオンラインと集合・対面型のそれぞれのメリットを岩手会に取り入れていきたいと思っています。

#### ・広報活動について

今年度久しぶりにラジオCM、ラジオ出演によるラジオを使った制度広報を行いました。私が調査士3、4年目頃だったと思いますが、当時の菊池静哉広報部長の下、ラジオミニ番組を企画し、広報委員としてIBC本社で緊張しながら収録したことを思い出しました。今年度広報部には様々な広報活動にトライして欲しいとお願いしました。失敗を怖がらず、新しい事に取り組むよう広報部長を先頭に役員全員で取り組んで行きたいと思っています。また私が広報について日頃考えるのが、一番の制度広報は会員一人一人が依頼者、隣接者、不動産業者、役所の担当者、司法書士、法務局等々、すべての関係者に対して、丁寧な対応、丁寧な説明を心がける事だと思っています。その積み重ねが「土地家屋調査士」は国民生活にとって欠かせない職業であると認知され、活躍の場を更に広げていけると思っています。私も心掛けるようにしますが、会員の皆様にも同じ思いを持っていただければ岩手県土地家屋調査士会の未来は明るいと思います。またこの事を心掛ける事によって、苦情の主な原因である「説明不足」は無くなり、苦情も大幅に減っていくと思っています。

#### ・求人と受験者数

ここ数年私の事務所では補助者の求人を出

してもなかなか応募者が来ず大変苦勞しています。これは当事務所だけに限らず、他の調査士事務所も求人には大変苦勞しているようです。この事は私たちの業界に限らず、他の業界でも同じだと思いますが、仕事があるのに人手不足で仕事をうまくこなせない事を大変もどかしく思っています。面接も様変わりし、以前はこちらが選ぶ側だったのに、今は選ばれる側で、応募者によってはどちらが面接されているのか分からない状況になることもあります。そして応募者が優先するのは、仕事のやりがいよりも労働条件・職場環境を就職の優先事項にする若い方々が多いように思われます。このような事から最近思うのが、「求人」と「労働条件・職場環境」と「受験者数」は一つで繋がっていると考えようになりました。制度広報は大変大事ですが、制度広報でやりがいがある仕事である事を若い人達に理解してもらっても、その労働条件・職場環境が貧弱ならば、土地家屋調査士を目指す事、土地家屋調査士事務所働く事を選択しません。私を含め今までの土地家屋調査士は業務を最優先し、労働条件・職場環境にはあまり目を向けて来なかったように思います。これからは制度広報によって土地家屋調査士のやりがいを伝え、事務所の労働条件・職場環境を整えて働く場としても選ばれる職業となり、補助者を確保し、土地家屋調査士を目指してもらおう。今求められているのはこのような事じゃないかと最近思っております。

#### ・おわりに

新年早々に体裁の悪い文章を読ませてしまい申し訳ありませんでした。

本年も土地家屋調査士制度発展のため、岩手県土地家屋調査士会発展のために役員一同、会員の皆様と協力し会務運営を行っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。



# 「盛岡地方法務局における各種施策の実施状況について」

盛岡地方法務局長 星野辰守

## 1 はじめに

岩手県土地家屋調査士会及び会員の皆様には、日頃から法務行政の円滑、な運営につきまして特段の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当局を始めとした全国の法務局では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、在宅勤務や出勤抑制等の取組を行いながら、国民のニーズに適切に応えるため、様々な施策に取り組んでいるところです。

具体的には、平成29年以降において、法定相続情報証明制度の導入、長期相続登記等未了土地の解消作業、表題部所有者不明土地の解消作業及び自筆証書遺言に係る遺言書の保管制度の運用が開始しています。

これらの制度を利用することによって、相続人等の負担が軽減されるとともに、遺言によって、権利関係がより早期に確定すれば、相続人において相続登記を行う動機付けにもなるものであり、相続登記の促進にも寄与することが期待されているところです。

これらの新規施策が法務局に任されることになった背景には、政府の重要課題として位置付けられている所有者不明土地問題があり、その原因の一つに相続登記が未了のまま放置されているとの指摘があったことが挙げられます。

加えて、従来からの取組でもある、震災復興型登記所備付地図作成作業等も実施していますが、いずれも「経済財政運営と改革の基本方針（いわゆる骨太の方針）」に

明記されるほどの重要施策として、位置付けられているところです。

本稿では、法務局が実施している施策のうち、貴会や会員の皆様に関係すると思われるものを中心に、施策の実施状況等について紹介します。

## 2 法務局における各種施策の実施状況

### (1) 表題部所有者不明土地の解消作業について

東日本大震災に伴う各種復興事業を進める上で、相続登記が未了のままとなっている不動産が数多く存在していることが問題となったことを契機として、法務省では、日本土地家屋調査士会連合会及び日本司法書士会連合会と連携し「未来につなぐ相続登記」と題して、国民に相続、登記の必要性を広く周知する様々な施策に取り組んできました。

具体的には、相続登記促進方策の一環として、法定相続情報証明制度や長期相続登記等未了土地解消作業等の各種施策を実施してきたほか、令和元年11月22日には「表題部所有者不明土地の登記及び管理の、適正化に関する法律」が一部施行され、住所の記載がない土地、字持地、記名共有地等のいわゆる表題部所有者不明土地について、法務局において所有者の探索を行い、その結果を登記記録に反映させ、その権利関係の明確化及びその適正な利用を促進しようとする取組である「表題部所有者不明土地解消作業」を実施しています。

当局においては、県内各市町村から作



業対象土地の要望を聴取し、令和元年度から毎年度163筆の土地について県内全ての登記所において作業を開始しています。作業の流れとしては、登記所内の資料収集のほか、地方自治体が保有する各種情報の収集、記名者については、その戸籍の収集を行った上で、現地特定及び関係者の聴取のため実地調査を行っています。各登記所の進行状況については、多少ばらつきはあるものの、表題部所有者として登記すべき者を特定し、表題部所有者の更正登記まで完了した事件もあるなど、引き続き、処理を進めていくこととしています。

一方で、これら調査の結果、所有者の探索に困難が伴う事情が生じ、所有者等が特定できない手続等については、登記官は所有者等探索委員、に必要な調査をさせることができるとされており所有者等探索委員は、登記官に意見を提出することを任務としています。貴会からは、現在12名の方を所有者等探索委員として任命させていただいており、このような所有者等の探索が困難な事案について関与していただき、その知識と経験を活用して必要な調査を行い、意見の提出をしていただくこととしています。これにより、調査結果の正確性や信頼性の向上が図られ、より適正な所有者等の特定ができるものと期待しています。

#### (2) オンライン申請の利用促進について

当局におけるオンライン申請の利用状況につきましては、平成30年度末の時点で62%と低迷していたところ、令和2年2月には80%を超え、その後は、毎月80%前後の高水準を維持しております。これもひとえに会員の皆様方の御理解と御協力のたまものであり、深く感謝申し上げます。

御存じのとおり、令和元年11月11日からオンラインによる不動産表示登記申請

における原本提示の省略、いわゆる調査士報告方式が可能となっています。会員の皆様には、これらのメリット等も御理解いただき、オンラインによる登記申請に更なる御協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### (3) 震災復興型登記所備付地図作成作業について

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から既に10年余りが経過しましたが、この間、当局におきましては、被災地の復旧・復興のため、全職員が一丸となって、特設相談所の開設や地図作成作業など、様々な施策を実施してまいりました。このうち、震災復興型登記所備付地図作成作業は、平成27年度から作業に取り組み、令和3年度は、盛岡市南大通地区及び宮古市山口地区において2年目作業を実施しています。昨年度の地図作成作業である盛岡市上堂地区及び宮古市長根地区においては、併せて99.8%と高い筆界確定率となっており、この点についても、作業機関担当者の高い説明能力等が関係しているものと考えています。引き続き、被災地域の復興に貢献すべく、計画的な地図の整備に取り組んでいきたいと考えていますので、作業機関に関わる会員の皆様の御支援と御協力をお願いします。

#### (4) 筆界特定制度について

筆界特定制度については、平成18年の制度開始から約15年が経過し、裁判によることなく筆界をめぐる紛争を早期に解決する手段として、定着している状況にあります。さらに、令和2年度は、地籍調査の推進のための新たな施策として、地方公共団体による筆界特定の申請を可能とする制度が創設されたところです。

筆界特定申請を適正・迅速に処理するためには、筆界特定登記官を始めとした担当職員の更なるスキルアップはもちろんです。その地域の慣習等に通じた筆



界調査委員の知識・経験や土地勘といったノウハウが不可欠です。貴会からは、現在30名の方を筆界調査委員として任命させていただいており、今後とも筆界特定制度の充実・発展のため、相互の連携を強化していきたいと考えています。

また、境界問題相談センターいわてと連携して、筆界特定制度及び調査士会ADRが適切に活用されるための取組も積極的に進めていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

(5) 所有者不明土地の抜本的な解決のための不動産登記法の見直しについて

令和3年4月21日に「民法等の一部を改正する法律」及び「相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律」が成立し、同月28日に公布され、今後、所有者不明土地の「発生予防」と「利用の」円滑化の両面から総合的かつ本格的な対策が行われることとなります。

このうち、所有者不明土地の発生を予防する直接的な対策としては、所有権の登記名義人の相続人に対して相続登記申請をすべき公法上の義務を課すこととされています。また、土地所有者が任意にこの義務を履行するためには登記手続の簡素化や添付資料の収集の容易化などの対策も重要であることから、相続人申告登記という新たな登記や、相続不動産の把握を容易にする所有不動産記録証明制度を創設するとともに、相続人に対する遺贈による所有権の移転の登記について単独申請を許容するなど登記手続の簡略化も行うこととされています。

さらに、所有者不明土地の発生原因として住所の変更が登記に反映されないことによるものも相当数あることを踏まえ、住所等の変更登記についても所有権の登記名義人に申請義務を課すこととされ、併せて、その申請負担を軽減する観点から、住民基本台帳や商業登記等、他

の公的機関が有する台帳制度等とのシステマ的な連携をすることによって、登記官が住所等の変更登記を職権で行う仕組みを設けることとされています。

加えて、登記義務者の所在が知れない登記が存在することにより土地取引等が阻害される事象に対応する観点から、登記された権利が既に存続期間を経過して消滅しているケースや既に権利者である法人が清算されてその権利も時効消滅しているケースを念頭に、このような登記を簡易な手続で抹消することができる仕組みを設けることとされています。

3 おわりに

本稿では、法務局が取り組んでいる施策の実施状況等について、不動産の表示登記に関係する施策を中心に紹介しましたが、不動産登記以外の業務につきましても、新たな施策・課題が山積しています。例えば、商業・法人登記では、令和3年2月から、定款認証及び設立登記を含めた全手続のワンストップ化、設立登記における印鑑届出の任意化等の施策が導入されたほか、令和4年1月からは、実質的支配者リスト制度が創設されます。本制度は、法人の実質的支配者の把握促進に係る国内外からの要請を踏まえて創設するものであり、法人の透明性に関する我が国の国際的な評価向上や国内取引の円滑化にも寄与するものとして期待されているところです。

このように、組織として取り組むべき課題は数多くありますが、これらの施策・事業を的確に推進し、国民の期待に応えていくためには、専門家である土地家屋調査士会との連携を強化していくことが不可欠であると考えています。

今後とも、皆様の御理解及び御協力をお願いするとともに、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げます。

# 令和2年度 受賞者名簿

## 仙台法務局長表彰状受賞者

畠山明夫(沿岸) (敬称略)  
川井一史(盛岡)

## 盛岡地方法務局長 表彰状受賞者

小笠原寿男(盛岡) (敬称略)  
佐藤保(盛岡)  
澤口雅友(沿岸)

## 日本土地家屋調査士会連合会長 表彰状受賞者

顕彰規程第5条  
八重樫森(花巻) (敬称略)  
川村恒夫(盛岡)  
安保豊人(盛岡)

## 日本土地家屋調査士会連合会長 感謝状受贈者

顕彰規程第7条第1項第1号  
菅原唯夫(盛岡) (敬称略)  
菊池直喜(水沢)  
佐藤保(盛岡)

顕彰規程第7条第1項第2号  
小野寺繁(一関) (敬称略)  
小野寺陸郎(一関)

顕彰規程第8条  
小山正(一関) (敬称略)  
上田穰(花巻)

## 日本土地家屋調査士会連合会 東北ブロック協議会長 表彰状受賞者

顕彰規程第3条  
吉田春男(水沢) (敬称略)  
岩山勝英(盛岡)  
新田謙一郎(花巻)

## 岩手県土地家屋調査士会会長 表彰状受賞者

顕彰規程第3条  
星健(盛岡) (敬称略)  
前田公久(二戸久慈)

# 令和3年度 受賞者名簿

## 仙台法務局長表彰状受賞者

小笠原 寿 男 (盛岡) (敬称略)  
葛 卷 弘 志 (盛岡)  
佐 藤 保 (盛岡)

## 盛岡地方法務局長 表彰状受賞者

千 葉 正 和 (水沢) (敬称略)  
岩 山 勝 英 (盛岡)  
新 田 謙 一 郎 (花巻)

## 日本土地家屋調査士会連合会長 表彰状受賞者

顕彰規程第5条  
佐 藤 英 志 (一関) (敬称略)  
山 影 義 一 (花巻)

## 日本土地家屋調査士会連合会長 感謝状受贈者

顕彰規程第7条第1項第2号  
築 場 弘 友 (盛岡) (敬称略)

## 日本土地家屋調査士会連合会 東北ブロック協議会長 表彰状受賞者

顕彰規程第3条  
仁佐瀬 進 (盛岡) (敬称略)  
芳 賀 義 明 (一関)  
古 山 敬 (県北)

## 岩手県土地家屋調査士会長 表彰状受賞者

顕彰規程第3条  
千 葉 博 幸 (一関) (敬称略)  
阿 部 裕 明 (花巻)  
三 浦 司 (盛岡)



## 「令和3年度 境界問題相談センターいわて 活動報告」

境界問題相談センターいわてセンター長 永野 智之

日頃からセンターの運営にご理解、ご協力をいただいております、会員、認定土地家屋調査士の皆様を始め、相談員・調停員の方々、事務局、運営委員の皆様方にはご尽力を賜り深く御礼申し上げます。

さて、本年度は昨年度4月より事前相談をセンター事業から切り離し、認定土地家屋調査士へ委託する新体制で運営を開始しております。それにより、初回の相談を認定土地家屋調査士の皆様より直接ご相談者にご対応をいただき、相談の内容によってはその後一般事件として受任していただける体制となっております。又、内容がセンター案件とみなされる場合には、ご相談者より申しいただき、今までの通りセンター相談員・調停員による相談及び調停と移行する流れとなっておりますので、ご対応をいただく際には今一度ご認識をいただけますようお願い申し上げます。

つきましては以下現状の活動実績をご報告致します。

### 活動実績

受付相談（認定土地家屋調査士対応）：23件  
（受付相談で終了：17件 一般事件へ移行：4件 対応中：2件）

調査士・弁護士相談員による相談：0件

調査士・弁護士調停員による調停：0件

### 令和3年度の活動報告

#### ① 相談員・調停員養成講座

11月19日（金）に盛岡市『いわて県民情報交流センターアイーナ』にて第1回相談員・調停員養成講座を開催いたしました。本年度は当センターのご認識をより会員の皆様にも深めていただきたく、相談員・調停員に限らず、岩手会会員の皆様へもご案内をさせていただきました。当日は会場出席12名、オンライン出席18名の計30名の方にご参加いただきました。内容としましては、二部構成の講義とし、前段では「境界問題相談センター業務の流れについて」と題しまして、当センター運営委員の千葉博幸氏より新体制でのセンター運営での一連の業務の流れについて。後段では当センターの相談員及び調停員でもあります弁護士の小保内義和氏より「相談及び調停の心得・注意点について」のご講義をいただきました。講義内容はセンターの案件に留まらず、弁護士からの目線での境界問題の事案等を交えた内容であり、普段の業務にも大変参考となるお話でした。



第1回養成講座

② 法務局・筆界特定室との境界問題合同相談会

昨年度は新型コロナ感染拡大の社会情勢を考慮し、合同相談会の開催を断念いたしました。近況ではあらゆる個所の出入り口にもアルコール消毒液も見慣れた光景となり、新型コロナワクチンの接種率も増え、個々人の感染対策の徹底も日常として定着してきた事より、岩手県内でも新たな感染確認が0人を継続しております。

それより本年度は感染対策を行い開催することといたしまして、会場を盛岡市『いわて県民情報交流センターアイーナ』にて12月4日（土）の開催を予定しております。

今後とも、当センターにおける活動を県民の皆様への周知を深めていながら、境界のトラブルでお困りの方にご活用いただける場のご提供を継続できますよう、私含めセンター運営委員一同の向上も高めて参りたいと思いますので、引き続き皆様方のお力添えも変わらずご協力いただけますようお願い申し上げます。



**境界問題相談センターいわてと  
法務局・筆界特定室が  
あなたの土地のお悩みにお答え  
します**

日時 令和3年12月4日（土）  
10:00～16:00  
（予約不要・相談無料）  
場所 アイーナ8階 806・807会議室  
（盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号）

主催 岩手県土地家屋調査士会  
019-622-1276

共催 盛岡地方法務局  
019-624-9655



## 「政連活動と復興の実感」

岩手県土地家屋調査士政治連盟  
会長 高橋 宏 二

令和3年2月26日の定時大会で金哲朗前会長の後を引き継いで会長職についてから本黎明が発行される12月で10か月ほど経ちます。金前会長には精力的に岩手政連を引っ張って行っていただきましたのでその後任ということでもかなりのプレッシャーを感じていますが、幸いにも副会長及び新幹事の御意見もさることながら最強の相談役陣にも就任して頂いたことはかなり心強い心境です。

政連の運動方針の一つに「政治家との連携を図る活動」がありますが、今年は衆議院総選挙が行われ、推薦状を発行した該当候補者が全員当選となっています。当選候補者は各党の土地家屋調査士制度推進議員連盟に所属している議員ですので今後の土地家屋調査士制度が国民に広く認知して頂けるような助言を期待しているところです。

もう一つ重要な運動として前年度以前からの懸案である県土整備部への調査士会長、政連会長連名での要望書提出に関した件であります。この要望書に関しては過去に当時の本会会長名や政連会長名でも提出していますが、今回の要望書に関しては回答書まで求めたもので一歩前進したものではありませんでしたが政連ニュースでもお伝えした通り、当連盟として満足に至るものではありませんでした。

特に建設関連業務の競争入札参加資格審査申請書の業種の「登記関連業務」と資格区分に「土地家屋調査士」を加えることの要望についての回答としてはほぼ実現は難しいとする「C判定」でした。この件は今年度の最重要案件として継続して運動していくことで幹事会でも確認をしており、再要望に向けて他県の「競争入札資格審査申請要綱」を実例資料とし、また調査士法第1条の使命の明

確化に関する一部改正や「全省庁統一資格申請要綱」の資料等を基としながら、顧問団には不動産登記制度及び調査士制度を更に理解していただく必要がありますので、この寄稿が会員の目に触れる頃には顧問団との打合せ会、勉強会が行なわれ、要望の方針も出ている頃かと思えます。

この要望を行なうに当っては、県が分筆等の嘱託登記で作成した地積測量図によって県民が不利益を被る等の事実が効果的な資料になり得ますので、会員の皆様には些細なことでも結構ですので情報提供にご協力頂きます様宜しくお願い致します。

話は全く変わるが、今年で東日本大震災から10年の節目を迎え、各メディアも3月11日までは復興状況等の報道を行なっていたが、以降は新型コロナ感染状況やコロナ過での東京オリンピックの開催可否等の報道に終始した感がある。

このオリンピック、パラリンピックが復興五輪と位置付けられ、東北の復興状況を全世界に発信する機会とされたが無観客での競技開催等により、個人的には五輪の開催意義の口実に使われた様を感じるし、アンケートでは6割強が復興は後押しされなかったとの報道もある。言葉は悪いが良い様に利用されたと勘繰りたところである。

一方、個人的には復興がなされたと感じることもある。

この寄稿を書いている日の新聞で12月18日に「三陸道」が仙台から八戸まで全線開通するとの報道を見た。同区間を移動するのに震災前と比べて3時間20分の短縮になるとのこと。このことは内陸に住むものとしてその区間を利用して仙台や八戸に行くことはないが、たまに短区間で利用す



るときは結構な恩恵に与るところで、ましてや沿岸部に住まわれる方々には相当な利便であろうと思う。

三陸道の他に復興関連道路として、「宮古盛岡横断道路」が今年の3月28日に完成し宮古盛岡間が約40分短縮されたとのこと。利用した実感としては半分がトンネルのような感じで40分以上の短縮に感じられる。

趣味の釣りでこれまでは大船渡方面に行くことも多々あったが、この道路ができてからはほぼ宮古方面での釣行となっており、同区間は冬道での事故も多いことから特にこれからの時期に更にその効果を実感するのではないだろうか。

これらの復興関連道路や集団移転宅地造成等事業でも土地家屋調査士も相当関わっており、一般事件においても民間の宅地造成、土地建物登記等で復興の一助になっていたものと自認するが、2、

3年前からは沿岸の業務はほぼなくなり、不謹慎ながらこのこともある意味で復興を感じることはあるが、震災当初に相談担当をしていた時を思い出すと簡単に復興と言えない思いもある。いづれにしても道路等の物理的な復旧を以て復興と言えるのかは一人一人が判断することではないだろうか。

単位政連として、震災によって表面化したといってもいい「所有者不明土地問題」や関連して今後設立予定の「管理不全土地建物管理制度」「隣地所有者不明土地筆界認定」他等の諸制度について、全調政連は制度対策委員会で土地家屋調査士の活用等の検討、要望を行なう運動方針を掲げており、全調政連と連携して関係機関に土地家屋調査士制度の理解と活用を継続して運動していくことになると思います。



## 「協会事業について」

公益社団法人岩手県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

理事長 佐藤 吉和

岩手県土地家屋調査士会及び会員の皆様には当協会の事業へご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では官公署の皆様からの登記嘱託を滞りなく進めるためには、適正な測量、豊富な知識が必要不可欠という認識のもと、研修会や社員説明会を通じて社員の実務向上に努めてまいりました。これからも日々変化する時代を的確に捉え県民の皆様のお役に立てるよう研鑽してまいりたいと存じます。

本稿では当協会が取り組んでいる公益目的事業の中で、登記基準点整備事業と地図整備事業について紹介したいと思います。当協会の登記基準点は平成14年に電子基準点を既知点として県内に73点の登記基準点を設置しました。そこから1級登記基準点、2級登記基準点、3級登記基準点を含め8000点以上の設置を進めていたところですが、平成23年の東北地方太平洋沖地震で大きな地殻変動が起き、すべての登記基準点が影響を受けました。そこで『1級登記基準点改測事業』を実施し県内560点の登記基準点を改測し新しい成果として当協会のホームページで公開をしております。また、日本土地家屋調査士会連合会の認定を受けた基準点として1級登記基準点543点、2級登記基準点86点の登録をしていますので、一般事件でも大いに認定登記基準点を活用頂ければと思います。

また、令和3年6月には電子基準点のみを既知点とした3級基準点測量マニュアル（案）が国土地理院から出されました。今までは3級基準点は路線長が1 km以下ということで電子基準点のみを既知点とすることはできませんでしたが、新し

いマニュアルでは既知点間の距離の制限は適用しないこととなっています。これから土地家屋調査士業務取扱要領にある登記基準点測量作業規程運用基準別表も見直されるかもしれませんし、当協会でもこの新しいマニュアルに対応できるように登記測量作業規程の見直しを検討しています。気を付けなければならないのは、測量方式や観測に使用する機器、観測時間や使用する衛星及び計算方法は『作業規程の準則』第2章で規定する『電子基準点のみを既知点とした基準点測量』と同様であるという点です。当協会では研修会を通じて社員の技術向上に努め、精度管理が出来ている成果を納品することにより、県民の土地境界での紛争を未然に防ぐよう努めてまいりたいと思っています。

次に、地図整備事業ですが、本年度は盛岡市南大通一丁目ほか地区と宮古市山口一丁目ほか地区を受託し、合わせて1.23平方キロメートルの面積の地図を作成することが出来ました。作業実施中は一般事件との情報を共有しながら作業することもあり、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、境界立会が予定通り実施できないこともありましたが無事に納品することが出来てほっとしております。

また、令和3年度、4年度事業として新たに盛岡市上田堤一丁目、同二丁目の全部、宮古市沢田、同本町、同中里団地、同日影町の全部の地区を受託し、一年目作業の基準点測量を実施しております。基準点の成果は令和4年2月25日に納品予定ですので、以降の境界測量には法務局設置の4級基準点を使用することが出来るようになります。

そして来年の5月ころから立会作業に入りますので引き続き会員の皆様にはご協力をお願いいたします。

この地図整備事業は全国の法務局・地方法務局において『民活と各省連携による地籍整備の推進』（平成15年6月26日都市再生本部決定）の方針を踏まえ全国で実施されているところですが、昨年『土地基本法等の一部を改正する法律案』が閣議決定され、ますます地図作成作業の推進が期待される所だと個人的に思っています。

当協会は官公署からの受託を通して権利の明確

化を推進するという公益目的事業を掲げております。個々人では作業が困難な業務量でも個々の力を合わせ、協会という組織においてそれぞれの力を発揮して頂ければ大きな成果を得られるものと思いますし、これからも官公署の皆様が必要とされる協会であり続けるよう研鑽を重ねて行きたいと思っております。

最後に岩手県土地家屋調査士会及び会員の皆様には引き続きご理解とご協力をお願いするとともに、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



## 「はい、一緒に「コロナウイルスのバカヤロー！」」

岩手青調会

会長 佐々木 敦之

皆さん、叫べましたか

それでは、今年度の岩手青調会の活動を備忘録的に紹介していきます。

私、令和3年度の岩手青調会会長を務めます佐々木敦之（花巻支部）です。

今年度の役員は、副会長 小田嶋達弘（盛岡支部）、浅沼徹哉（盛岡支部）、幹事 廣田利彦（盛岡支部）、伊藤友洋（花巻支部）、早野亮輔（沿岸支部）、監事 佐藤勝也（県北地区）、菊池貴也（盛岡支部）

さ：[役員の皆さん、急なお願いでしたが引き受けていただきありがとうございます]

・第32回岩手青調会定時総会（令和3年4月21日）  
コロナ禍の折、小岩前調査士会会長にご出席いただき、役員のための少数でしたが開催することができました。

令和2年度事業（岩手青調会前会長佐藤勝也）として、コロナ禍で活動に制限がある状況下であり、岩手青調会の会員のみならず岩手会の会員が感染予防対策及び広報活動の一環となればとの考えから「桐の徽章」「地識くん」のマーク付マスクを作成し、岩手県土地家屋調査士会に寄贈いたしました。

さ：[私の在籍期間残り2年の内、岩手青調会の聖地：つなぎ温泉清温荘で総会を開催できる？]

・第1回岩手青調会研修会（令和3年7月10日）  
「土地家屋調査士業務取扱要領 グループ勉強会」  
＜業務について何でも話し合おう・今さら聞けな

いけど教えて！＞

コロナ禍の状況での集合型研修会でしたが、久々に会員同士のコミュニケーションが図れた機会だったのではないのでしょうか。

さ：[役員からは他の研修案もあり実行していく予定でしたが尻すぼみになっていくのでした。会長の不徳の致すところ・・・]

・第1回岩手青調会レクリエーション＜ゴルフレッスン体験＞（令和3年8月8日）

コロナ対策に留意して、楽しくさわやかな汗を流すことができたのではないのでしょうか。

さ：[令和元年度千葉博幸会長発案の岩手青調会会長杯の第2回を開催するまでの段取りができなかったなあ]

・第17回青年土地家屋調査士会全国大会 in ひろしま（令和3年8月28日）

オンラインによるライブ配信での参加でしたが、広島青調会の皆様の企画により楽しませていただきました。次回開催地は「TOKYO」です。

さ：[コロナ禍での新しいスタイルでのアイデア及び実行力すごいなあ]

・東北地区青調会交流会中止（岩手開催）

コロナ禍での感染拡大の懸念から開催を断念しました。

さ：[東北の皆さん開催のアイデアでませんでした]

・第2回岩手青調会研修会（Coming soon）

さ：[研修会を企画します。開催します。やるぞ！  
ホントかよ]

令和3年度の残り4カ月余りとなりましたが、  
ここからREBOOT的に岩手青調会活動していき

ますので、皆様のご協力よろしくお願いいたしますま  
す。

※さ：[ ]は独り言あしからず



第1回 岩手青調会研修会



レクリエーションゴルフ



令和2年度事業（マスク配布）

## 小笠原寿男 × 小山田泰彦

土地家屋調査士会会長



岩手県司法書士会会長



Q1 近年、岩手県土地家屋調査士会の会員は継続的に増加しておりますが、お二人が土地家屋調査士、司法書士を目指したきっかけを教えてください。

小笠原：私は、2000年の平成12年に合格して平成13年に開業したのでちょうど20年になりますね。皆さんもご存じかと思いますが、父親が土地家屋調査士なので、継げとは言われなかったけど、親戚の所とかに行けば、「後継ぎがいていいね。」と常に言われていました。小学校の頃から親父の測量の手伝いをして、平板測量のときは、親父に鉛筆やテープって言われたら「はい。」ってすぐ渡さないと怒られたんですよ。うちの親父は怖かった(笑)

小山田：私は司法書士が平成8年に合格して平成9年に土地家屋調査士を合格。平成10年の10月に勤めていた東京から戻り開業しました。元々は公務員で郵便局員でした。勤め先は県庁の中の郵便局。数年勤務したもののしっくりこなくて、何か資格を取ろうかなと、今の県立大学の前身で住吉町に盛岡短期大学がありましたので、そこの夜間部に入って勉強したところ、司法の道の方が自分に馴染んでい

るのではないかと考え、大学卒業と同時に郵便局をやめて、こちらの勉強を開始し1年ちょいで合格できました。まあ、寝る、食う、風呂入る以外はほぼ勉強してましたからね。

小笠原：開業するまで東京で何をされていたんですか。測量事務所とかにお勤めされていたんですかね。

小山田：そうですね。それまでは、東京の会社で勤めていましたが、東京と岩手では測量の仕方から根本的に違いますからね。具体的に言うと図根点といったものがないので、あるがまま測ってたみたいな感じですよ。今となれば岩手では世界測地系が当たり前ですが、東京とかは今でも任意座標で測量されていることも多いと聞きます。

小笠原：先日の全国会長会議では、ある会長さんから公共座標で地積測量図を作成していくのが全国の土地家屋調査士の目指す方向性であるのではという内容が出ましたが、関東の方では大きな建物が建ちすぎて上空視界がとれないからGPS測量が行えないと答えておりました。また、九州のある調査士会では、GPSを会で購入して会員に貸し出しながら公共座標を



推進している会もあるようです。

小山田：やはり、公共座標の良さは災害に強いこと。基準点が無くなっても復元可能なのが公共座標であると思います。もちろん境界杭も流されてしまえば任意座標は復元できないこともありますけどね。これだけ災害が増えてきてますから。

Q 2 様々な役職を得て、お二人は会長になったわけですけど、重役を引き受けた動機や決断についてお聞かせください。

小笠原：私が本会の役員になったのは平成15年で、当時IT委員会ってのがあってその委員や広報委員、平成21年から、理事になり部長や東北ブロックの事務局を経験し、本会の副会長を長く受けておりました。そんな中、小岩前会長から会長を打診され、副会長の時から会長をやりたいと思っていたことはこれっぽっちもなかったんですが、せっかく声をかけてもらったのでお引き受けしました。しかし挨拶や文章を書くのが苦手でした（笑）。

小山田：挨拶がお上手な方はおりますね（笑）。私の場合は、先ほどもお伝えしましたが平成10年10月に登録した翌年に支部長になったんです。当時は私が最年少だったのもあり「次あんたの番だよ」って、なにもわからないまま大先輩から言われると「はい」、しか言えなかった（笑）。それからすぐ本会の理事になって、副会長を足掛け10年やって会長になりました。その間2年だけ本会をお休みの時期があるのですが、その時に全国青年司法書士会会長を受けてました。内々の中で順番通り次頼むよ。ってなったわけです。そして、気づけば今年5年目です。

小笠原会長と同じで、やりたくてやったというわけではありませんが、会長になったからには、会員一人ひとりのため

にどう会務運営をしていかなきゃいけないという思いをもちつつ覚悟を決めました。

小笠原：そのとおりですね。覚悟の部分もありますが、会長をうけると時間の拘束も多いので、事務所との連携や形態を整えなければなりません。私は、仕事と役職を両立できているかといわれると分かりませんが、昔を思い出すと、親父も仕事が忙しい中、様々な役職をこなしていました。「役をやるのが当たり前」を見てきたので、役をお願いされたらやるという気持ちはありました。当事務所は、親父も含めると調査士が4人おりますので、他の調査士に協力してもらっています。そういう点では両立できる環境になっているかな。もちろん負担をかけてしまっているのはありますけど。

小山田：私も同じで、司法書士資格者は現在私一人ですが、従業員には助けてもらっております。役職が人を育てるってよく耳にしますが、そのおかげで育ててもらってると思います。仕事にしたって、お付き合いや家族、忙しいのはみんな同じですよ。それを理由にやらないは筋が違う気がする。今の形態は様々なツールがあるのでWEBやメールで済む場合は活用するべきではないでしょうか。そういった環境は整ってきておりますしね。

Q 3 変わりゆく時代の中で、土地家屋調査士会、司法書士会の現在の状況や今後の課題などあれば教えてください。

小山田：岩手県司法書士会は2021年7月現在で137名6法人。10年前に比べるとだいぶ減ってきております。理由としては、高齢でやめている人数に比べて新入会員が少ないという事が何年も続いております。



小笠原：我々も同じようなシミュレーションをしておりましたが、ありがたいことに現在は182名9法人で、10年前の平成23年は179名1法人でしたので、10年たってこの人数を保っている事に感謝しています。

小山田：資格者を増やすという事を考えれば、司法書士の予備校は近くても仙台にしかありません。そういった環境も土地家屋調査士会とは違う気がします。

小笠原：確かに。N学院を卒業して資格を取った方は多いと思います。土地家屋調査士の予備校は岩手に盛岡校と水沢校二つありますから環境は良いですね。小山田会長、司法書士を開業する際の初期投資など昔と今ではいかがでしょうか。

小山田：昔から変わっていないと思います。業務内容もタイプで打っていたのがワープロになってパソコンになったくらいです。極端な話、電話とコピー機とFAXあれば出来ちゃいます。その点は開業をし易い業種ではあります。オンラインをやります、となるとネット環境を整えパソコンプラス専用ソフトを入れるくらいですから。

小笠原：土地家屋調査士の初期投資は、どのくらい揃えるか事務所にもよりますが、約500万円と昔から聞きますね。今は高額な測量機器も豊富にあるので、もっと高いかもしれませんね。昔は、平板測量からトランシットが出来て手書きで野帳



に書いていたのが電子野帳に変わり、その後、トランシットの上ののせる光波が出来て変わりましたし、内業もそろばんから電卓に変わり、電卓からセイコーの機械を取り入れて、座標がロール紙でペロッと出てきて。その後NECのPCが出てきましたが速度が遅く、1年で倍の能力になったり、PCを買い替えるのに50万から60万円して、それを毎年買い替えたり、図面書きは図化機が出てきて、ここ50年で機械の進歩と共に我々の測量の仕方、外業・内業の仕方が相当かわってきたなあって思います。

小山田：土地家屋調査士は、小笠原会長のおっしゃる通り、一人測量が可能となり、現在は空からのドローン測量や3D測量と目まぐるしく進化を遂げていると思います。司法書士になって開業した頃は本人確認が緩く、書類があれば取り敢えず申請できますよ。ということだったのが今は厳格にご本人をきちんと確認して人と物と、その意思を確認した上で申請下さい。それをやらないと懲戒になる、それは当時であっても普通の話だったんだけど便宜上そういうやり方をしていたということなんだけど、昔から親父さんの不動産でも息子さんが全部対応して、実印から印鑑証明から権利証から全部持ってくればそのままやってしまうということが多かったと思うけれども、親の財産勝手に売ったということがあった

んでしょうね。調査士さんも調査報告書が出来た事によって虚偽の事実を書けば罰則になります。当時はそれが無かった。だから何となくだけれども国民全体の権利意識がそれぞれ確立してきているからその辺をこちら側でもきっちり合わせてやらないとと言う事がはっきりしてきた。

小笠原：ところで、土地家屋調査士も司法書士も地域に根付く業務であると思われませんが、近年所縁のない司法書士が岩手で業務を行えている理由ってというのはあるんですか。

小山田：日本の中で岩手県だと司法過疎地域の指定が岩手町・八幡平市・葛巻町などがありまして、司法書士が誰もいなくなってしまうので開業してくれる方を連合会のほうにあげて過疎地指定をしたところに定住してくれる司法書士を紹介してくださいとお願いしております。そういった形でいらしたのが東和町の可児さん、二戸の望月さん等が関西から来てくれました。しかし、やっぱりなかなか難しく、司法書士がその地域に一人もいないから事務所を置けば大丈夫だっていう訳ではなくて、それで仕事があるかと言ったら実はそうでもないじゃないですか。

その辺のところ色々難しいかなと思います。継続してそのまま定住していただけるような仕事が間違いなくあるよっていう風にしてあげないと来てもらっても食べていけないってなってしまうと可哀想ですもんね。そういう仕組みでは色々やっています。

小笠原：会のホームページからそういう情報が司法書士になった方に公開されている事ですか。毎年、司法過疎地に開業したい人の募集とかもしているんですかね。

小山田：本会が動いてくれて、ここありますよ、ここありますよって紹介するような形ですね。

小笠原：調査士会や連合会ではそういうのいよね。実際調査士がいなくて大変な地域も間違いなくあると思います。そもそも、司法過疎地の住民の方から要望もあるんですか。要望があって、その司法過疎地に認定になる流れなんですか。

小山田：認定自体は会のほうで指定する形になります。あーここにいないねっていう感じです。指定をする際にこっちの担当者と連合会からも人を派遣してもらって役所とかに廻っていただいて司法過疎に適うのかどうか調査していただいています。その結果、じゃあここは過疎地指定にしましょうっていう風に決めて、だからニーズ的にはあるよっていうのが前提です。日弁連でもひまわり基金っていう形でやってますよね。でも、ひまわり基金は事務所も給料も日弁連持ちでって話ですね。そこまではお金がないから我々はできませんね。あとは、開業資金についての貸し付けを行っています。いくらまでだったか忘れましたが、定着して5年間いけば返さなくてもいいよっていうことで、貸付を行っています。

小笠原：過疎地指定をして紹介してそこで開業して頂き、あとは自分の努力次第ってことですね。開業したい人は別に地元じゃなくてもいいですもんね。でも実際過疎地の町に来た時に、その司法書士さんが地域の人たちに馴染んで仕事があるかっていえばあとは本人次第ですもんね。人柄、お付き合いなんでしょうね。土地家屋調査士や司法書士がいらないからといって直接仕事があるわけでもないし。でも、銀行とかはありがたいですよ。地元の銀行とかは遠い場所の司法書士にお願いするよりは地元の方にやってもらったほうが間違いのないわけですよ。

あとは、新しく来た人だからっていうこと



を会内で情報共有して、なるべくその地域の仕事は振ってあげてくれるという協力体制は必要かと思います。例えばですが、遠方からわざわざ来ていただいて地域になじめないことも中にはあるかもしれないし、やっぱり思ったより仕事の量が少ないっていうのでまた違う地域に行かれる方はいらっしゃるんですか。

小山田：全国的に見ると、ないことはないと思いますが、先日伺った話では、全国で一人か二人だったかなと記憶しております。そう考えると定着率は高いですね。ただ、全然日調連だって日司連のこういう動きはわかってるけども日調連のほうもやろうかっていうことになっていかないのは何ででしょうかね。なんか理由があるのではないのでしょうか。

小笠原：やはり土地が動かないと建物も建たないわけですから司法過疎地に必ず仕事があるってわけじゃないでしょうから。まあ、実際にどこに依頼すればいいか困ってる業者とかもあるんだろうなと思いますが、調査士の場合、2011年の被災後の被災地に内陸から協力したり、協会の地図作成などでも協力体制が出来るから遠方からも可能という事は強みですね。

小山田：司法書士の場合、その決まりを作るときもやっぱり下世話な話、自分の食い扶持減る話になるんじゃないかっていう意見はあったみたいです。ただ、簡裁代理権とってからはその地域に一人はいないと、その地域の裁判権を守るとか困ったことに対応できないで



しょという理屈で内部的には通しちゃったみたいです。だから、その過疎地指定するにも来ていただく人はまずは簡裁代理権を持っていることが条件です。あと、成年後見業務をやるっていうのが条件です。そういう各種の業務を持つてる特性でしょうか。

小笠原：土地家屋調査士も司法過疎地のような情報提供はあってもいいと思いますね。この辺の地域手薄だから来てもらうとありがたいなって柔い感じのでも良いかと思います。我々の使命は、国民の信頼に応えることですから、その地域に馴染み、寄り添いながら必要な場所に必要な資格者はあるべきですね。

#### Q4 専門分野である土地家屋調査士における今後の業務の課題や取り組みについて

小笠原：業務の難しさは、多くの経験を積むことでクリアできることがあります。しかし、特に経験年数の浅い会員は経験できていない業務は多いと考えます。補助者経験がなく開業する方もおられると思います。是非とも研修会に積極的に参加したり、自分自身で勉強を怠らないように取り組んで欲しいです。しかしそれでも補えない事もたくさんあると思います。会として豊富な研修なりフォローをしないとイケない。まずは、同じ年代とコミュニケーションをとって情報交換をするべきであります。調査士業務も様々あって、一戸建ての表題登記はしてきたけどマンションの登記は経験がないとか、参考本を読んだだけでわかることだけではないので、経験を積んだ人に聞くとか。会や支部、青調会でしっかり

と相談しやすい環境を作り、橋渡しになってもらいたいと思います。もちろん会としても研修会の充実や調測要領の理解を深めていきます。10年後も20年後も土地家屋調査士という仕事があるように。

小山田：調査士にとっての話でいきますと、一番の転換期になったのが、柳平さんが作成した調査報告書であると思っております。この調査報告書の創り込みの本当の意味を考えると非常に感心してしまいます。当時、測量士が登記に参入するといった業種間の業際問題がありました。この調査報告書により測量士が安易に登記業務に入れない参入障壁になって、罰則規定も設けたことにより強固なものとなり、資格自体を盤石なものにしました。他の資格業を入れさせないのはすごいやり方です。その点、司法書士は、本人確認はあるにしる、その手当ができていません。本人申請は認めるという法律の作り込みから、本人が法務局に通うことによって申請ができます。そのような意味（参入障壁）では脆弱と言わざるを得ません。今後どうやったら盤石なものにしていけるのか検討している所であります。ディスラプターっという言葉を御存じですか。世の中の流れ自体がウーバーとかエアアンドB&B等のデジタルテクノロジーを活用することにより、既存の業界の秩序やビジネスモデルを破壊するプレイヤーのことで、このテクノロジーの進化について、我々司法書士会は戦々恐々としております。逆に言うと調査士は、不動産調査報告書があるがために、それが参入障壁になっているから盤石だと考えます。しかし、あまりにも厳しくしすぎると、国民から不便だと指摘を受けることも想定され、それが逆に働いてしまいますが。そのあたりのバランスを考えてどうやっていくべきかが未来に繋がるかと考えると、互換性の高い資格同士と一緒にタックを組んで、新

たな仕組みの中でサービスを提供する。デジタルを駆使した形で、ディスラプターに対抗するためにどういう対策をとれるのかを考える必要があります。紙をデジタル化し、オンラインにするだけでは足りず、その仕組み自体を国民に対してより良いサービスの提供ができる仕組みを構築できるかだと考えています。さらにFATFといったものにも対応していくことが重要です。

小笠原：連合会任せにしている箇所もありますね。我々から連合会にどんどん声を出していく必要性を改めて感じるようになってきました。問題提起をどんどん出してまいりましょう。

小山田：先ほどの話の続きですが、都会の苦戦するタクシー業界では、どこかの社長が忘れましたが、ウーバーに対抗するために社長自らが一から勉強して自分がプログラムを組めるようになって、タクシー運行のプログラミングをし、配車システムを作ったと聞きました。イメージを膨らませないとやれない時代になるかも知れませんね。

小笠原：目の付け所によりますが、やりたいことが山ほどあって、絞っていかないと結局やりたいことが何一つできない。研究所でも業務に反映できていることが少ない気がします。本気になって業務拡大を勝ち取るということをやっていないといけませんね。今更ですが、よりよいADR認定調査士の活用方法も考えていかないといけない。

小山田：利用件数が少ないのにコストをかけて人員を割いて維持していくことは難しいと思います。日司連では、全国に調停センターをおいて、司法書士単体の場合140万以下のケースしか扱えない事になっております。個人的な構想としては、全土業の調停センターを県下に一つ作るべきではないかと思っております。それぞれ作ってしまったから今更の話ですが、利便性や複層する問題が散見され

ることを考慮すると、相談者にとってみれば解決が早い気がします。

小笠原：個々の調査士同士のコミュニケーションはもちろんですが、隣接士業同士の交流も今後大切であります。隣接士業のある程度の業務の知識を得ることも大事ですし、知識を増やすことも努力次第によって出来ますが、隣接士業に知識を聞ける調査士になってほしいと思っております。気軽に相談できる司法書士さん、弁護士さんをつくってほしいですね。

Q5 士業の明るい未来を描いていくために、会員へ一言お願いいたします。

小笠原：会として制度広報も大事ですが、個々の会員のお客様（国民）との関わりが大事で、一つ一つの仕事に対して丁寧な説明であったり、しっかりと業務をこなす認識を全員で持つことが大事であると考えます。会員一人ひ

とりが責任と自覚を持って、実行できたら今よりももっと素敵な会になると確信しております。そのために、会として会員を守り、会員の声を尊重して、魅力ある組織を築いてまいります。

小山田：司法書士の立場で一言申し上げますと、土地家屋調査士会と今以上に仲良くなりたいと考えております。先ほど小笠原会長が仰ったとおりで、なんでも話し合える関係性を地域ごとに作る。その輪の中で丁寧な仕事をしていくことがどちらの士業にも役立ちます。研修会でも相談会でも様々な機会、顔を合わせてもらうところから始めて頂いて、その地域にあった、そしてその特色に根ざした関係性を作っていければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。







## 「ニューノーマル」

盛岡支部 葛巻弘志

日頃から盛岡支部の活動に対しましてご協力頂きまして大変感謝しております。さらに、新型コロナウイルスに翻弄されて2年が過ぎようとしています。思うような活動ができていない状況にご理解をいただきお礼申し上げます。

最近、ニューノーマルという言葉をよく耳にします。巷では社会の大きな変化によって新しい常識が定着することを表し「新しい生活様式」を総称する言葉とのこと。

土地家屋調査士の業務に関しても例外ではないと思っています。

私が土地家屋調査士に関りを持ったころは、内業は法務局に閲覧しに行き登記簿の内容を手書き、公図・測量図はトレーシングペーパーに写して来たうえで、外業は手簿・記簿の手書き、パソコンが出始めてドス版の測量ソフトに手入力、申請書は和紙に和文タイプで作成というような状況でした。諸先輩方から見ればこれでも大分デジタル化？された状況だったかも知れません。

三斜法の測量図があたり前だったものが座標法の測量図になり、日本測地系から世界測地系に、そして測地成果の変遷等々。また、携帯電話やインターネットの急成長による様々なデジタル化の流れ。それら時代と共に変遷される都度対応し何時しかそれがノーマルになってきている。というより、研修や講義の機会を与えてもらって専門家としてノーマルといえるように対応しているのは私だけでしょうか。

ここ2年は新型コロナウイルスの感染防止のため、出来るだけ集合しての会議や研修等を企画するのが難しく、オンラインによるリモートでのWEB会議や研修が実施されてきました。

最初は上手く行くのかどうかも不安しかありませんでしたが、本会の指導もいただきながら支部役員の方により何とか形になったものと思います。

このようリモートによるWEB会議等もニューノーマルと言えるのではないのでしょうか。今後も可能なものについてはこのような手法による開催を検討することも少なくないのではないかと考えております。

とは言っても、集合しての研修、また、対面しての研修も非常に有効であると思われるので、一人一人が感染防止対策の意識を持って状況に応じた活動が求められると思われます。

『業界のノーマルはその業界の中だけに通用する！！』

先日、こんなことがありました。

隣接者に境界立ち合いをお願いするため資料を作成して持参しました。家の方がいらっしやっただけで説明の上で立会お願いの資料をお渡ししたのですが、その日の夕方に早々に問い合わせがあり、まず、測量地の所有者からではなく土地家屋調査士から境界立ち合いのお願いがあったことにお叱りを受けました。

一応説明はしましたが、言い訳としか理解してもらえず、依頼者と相談のうえ、立ち合いのお願いに直接行ってもらうことで対応することにしました。

その後も何度か連絡は取れたのですが、なかなか立ち会いまでに至らずに困っていた時に、お願いの資料に付けていた公図（登記情報サービスで取得した公図）が発行者と認証印がないため、あ

あなたが勝手に作ったものではないかと疑われてしまいました。それについても、民事法務協会で登記情報サービスというインターネットで取得できるシステムがあると説明しましたが、一切聞き入れてもらえませんでした。我々調査士としては非常に便利なサービスで勝手にノーマルな事だと思っておりましたが、一般の方にしてみればノーマルではないのだと、専門家として認識しておく必要があると反省する機会だったと思います。

終わりになりますが、実は黎明の寄稿にあたって、盛岡支部の「地域の魅力について」とのテーマでの依頼だったのですが、いろんな魅力がありすぎて選別できなかったため、私の自宅から徒歩で行けるお気に入りの風景をご紹介します。

きます。四十四田ダムから見える岩手山なのですが、四季によって様々な表情を見ことができ、通る度に気にかけている場所です。皆さんも気が付いたらちょっとだけ脇見運転してみてください。

今後とも盛岡支部の活動にご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。





## 「自然の魅力と我が家」

花巻支部 渡 邊 典 史

コロナウイルスの影響で県外へ出向く機会がなくなり、近場に楽しみを求めることが増えました。このご時世ですので、楽しみを人出が多いところに求めることはできず、自然を相手に家族と一緒に過ごすことが増えた2年です。

我が家は、花巻市街から車で15分ほどの自然豊かな棚田（現在は田ではなく、畑として使用しています）の中にあるポツンと一軒家です。

ポツンと一軒家というと大層な田舎に思えますが、徒歩2分のところにJR釜石線の駅があります（無人駅ですが）。

妻は野良仕事が趣味のおかげで広大な棚田の草刈りを担ってくれています。

我が子3人は、自然の中で遊ぶことに長けています。下の子2人の特技は穴掘り。畑の土を掘り、落とし穴？を作ります。

2020年2月コロナウイルスの影響で急な休校。自宅で過ごす子供たちの運動不足やストレスが心配されている中、我が子たちは畑脇にある木に登り、そこで本を読んだり、また広大な棚田をふんだんに使用して隠れん坊もしていました。ただ、近所には堤が5カ所もあり、当時、下の子は幼稚園児、2番目の子は小学校低学年であったため、誤って堤に落ちたは一大事です。なかなか隠れん坊から戻って来ず、棚田の法尻に隠れた我が子を必死に探しました。頭の中ではジブリ映画『となりのトトロ』メイちゃんのサンダルが頭によぎります。親の体力的にも精神的にもよろしくないため、隠れん坊は親の目の届く棚田3枚までとなりました。

自然豊かな場所は楽しいこともあります、危険もあります。

自宅周辺では、鹿が現れたり、たまに熊の目撃情報があります。今年の春は近くの線路脇に熊が死んでいました。（普段、地域で熊が現れると熊出没メールが学校などから届きますが、死んでいたためかメールは来ませんでした）。こんなに近いのは初めてですので、ちょっとドキドキです。

また、子供たちが下校時に、歩道にいるライギョを見つけました。歯がギザギザで触るのは恐いですね。後で知りましたが肺呼吸が出来らしいです。

危険といえば、一昨年 妻はハチに刺され、ドクターヘリの待つ小学校の校庭へ救急車にて運ばれました。万が一の際は旦那さんもヘリに乗って盛岡の病院へということで、お医者さんの処置を待ちました。妻への心配と、折角だからヘリに乗ってみたいという好奇心が錯綜しましたが、残念ながら乗れず。とりあえず、よかったよかったという出来事もありました。

我が子たちは、自然の楽しみ方と危険なところを、体験を通して学んでいるようです。子どもたちが自然と触れ合う機会があるのは、とてもいいことだと思います。

また、我が家は古い民家に住んでいるため、寒い冬は薪ストーブを使用します。子供にマッチで火を付けてもらったりもします。秋におこなう冬ごもり作業は家族総出でワイワイとするため、『作業』が『楽しみ』に変わるときでもあります。

春は畑の準備、実家の田植えの手伝い、夏は草刈り作業（こちらは上の子は電動草刈り機でお手伝いしてくれるようになりました）、秋は稲刈り、畑じまい、薪の準備、冬は棚田でスキー、スノーボードをする。こんな感じで我が家は自然を満喫しております。

「地域の魅力をテーマに」と言われましたが、「我が家のコロナ禍の過ごし方」になっ

てしまいました。

ここ数年は、身近に楽しみを求める風潮が出てきました。

みなさまもGoToトラベルや、県内宿泊、自宅や近所での楽しみ方など、いろいろな体験をされ、「地域の魅力」を再発見する機会になっているのではないのでしょうか。





## 「地域の魅力（胆江地区・温泉サウナ編）」

水沢支部 八幡吉 充

昨年からのコロナ禍で様々な自粛が求められ、皆様も出来るだけ遠出をしないように、お住まいの地域で過ごされたことと思います。そんな中、私は車で10～20分で行ける近場の温泉に、人出のある週末や込み合う時間などを避けて今まで以上に行くようになりました。

豊かな自然に恵まれた胆江地区には12の温泉施設があります。どこも山奥の秘湯と違い、まち場から比較的近くにあるため、手軽に入浴できるのが魅力です。毎日内湯代わりに利用しているという人も少なくないようです。

私はサウナが好きで、サウナー（サウナ愛好家達の通称）の端くれです。コロナ禍以前にはドラマ「サ道」の舞台にもなった東京都上野の「北欧」やサウナの聖地の一つと言われる名古屋市栄の「ウェルビー栄」にも足を運びました。コロナ禍後には全国でもナンバー1の呼び声高い”飲める水風呂”の静岡市「サウナしきじ」や西の聖地と呼ばれる熊本市「湯らっくす」などにサウナ行脚するのが私の目標です。

そんな私が思う良い温泉サウナの条件は清潔なサウナ室、冷たい水風呂があり、ととのいスポットといわれる外気浴が出来るスペースのあるところです。（ととのうとはサウナ→水風呂の交互浴を繰り返し、休息をすることで味わえる究極のリラックス状態になることです）これに露天風呂があればもう言う事はありません。今回はその条件が全て揃っていて、私が良く行く3つの温泉施設を紹介したいと思います。

まずは、水沢佐倉河にある「うたたねカフェ さくらの湯」です。地下1,400mからの源泉は、湯上がり肌もしっとり滑らかになります。老若男女に人気があり、いつも混んでいる印象があります。ここは外気浴スペースが最高で、日本庭園に手入れの行き届いた広い芝生と岩風呂があります。内湯には青森ヒバの個室のぬるま湯が2つあり、人気が高く順番待ちすることもあります。水風呂は広く、地下水掛け流しはたまりません。湯上りはさくらの湯名物と言われる自社農園で栽培した十割蕎麦がおすすめです。

次に、金ヶ崎町永栄にある夏にリニューアルオープンした「温泉café ぶらね」です。泉質はメタケイ酸が多く、保温効果が高いため、良く温まりお肌スベスベになります。露天風呂に浸かりながら満天の星空を眺めることが出来ます。コミック5,000冊&雑誌が時間無制限で読み放題なので一日居ても飽きることはありません。食堂はリニューアルでオシャレなカフェになりました。自家栽培のブルーベリーのかき氷をお試しあれ。15年位前に建物表題登記をさせて頂き、1m程に積み上げられたA1の図面を台車で車に積み込んだのもいい思い出です。

最後は、私一推しの水沢佐倉河にある「珠玉の湯 薬師堂温泉」です。水沢で初めて湧出した温泉で、体が良く温まりお肌を守るナトリウム塩化物泉で血管拡張作用がある硫酸イオンや鎮静効果があるカルシウム、目や肌によいホウ酸も多く含まれています。温泉設備全体があまり大きくはありませんが、水風呂の温度が15度と低く、サウナーにはたまり

ません。露天風呂の岩に座って、ととのった回数は数知れずです。ここは何故か、スキンヘッドの方が多いです。たまたまだと思いますがサウナ室にいた私以外が全員スキンヘッドだったことがあり、何とも言えない気分になりました。サウナで汗を流した後の「油淋鶏定食」は絶品です。

いずれの温泉でも水沢支部・他支部を問わず、調査士さんによく会います。サウナで一

緒に汗を流すこともありますし、露天風呂で長話することもあります。(今は黙浴が原則です！)

「皆様、是非お越しく下さい！」と言いたいところですが、そうも言えないこのご時世。言えるのは「皆様の身近にある温泉サウナでのんびり黙浴してみてはいかがですか？」くらいでしょうか？きっと、お住まいの「地域の魅力」を再発見できる事と思います。





## 「一関・平泉の隠れた魅力」

一関支部 三浦 義 則

いつものことながら寄稿依頼を受けると固まってしまう。

話があってから着手するまで時間がかかってしまい、気づくと締め切りが5日後に迫っていた。さて困った、時間がない。『地域の魅力?』普段の生活の中ですべてが当たり前となっている今、灯台下暗しである。新聞に目を通して「道の駅」の賑わいの記事が載っていた。そういえば広報部時代「岩手の道の駅」、「岩手県内の義経北行伝説」を各支部から寄稿してもらおうかと考えたことを思い出し、早速カメラ持参で「道の駅むろね」「道の駅かわさき」「道の駅巖美溪」「道の駅平泉」を撮影して歩いた。一関支部管内には4つの「道の駅」がある。土曜日と言うこともありすべての駐車場がほぼ満車状態であった。数年後にはまた1つ大東町の産直が「道の駅」として道路改良工事（バイパス）が終わった県道沿いにできるという。季節は秋、野菜や果物、加工食品（野菜や食肉）等々が処せましと陳列され大勢の人で賑わっていました。普段から仕事漬けで季節を感じる暇もなく地元の「道の駅かわさき」すら立ち寄ることがなかったが改めて目の雄大な北上大橋と調和（美しさ）に気付かされました。道の駅はどこも同じと思っていましたが「道の駅平泉」は言うまでもなく世界遺産「平泉」をかかえており、「道の駅巖美」は一関の「餅文化」を前面に出し、脇には一関市博物館、名勝「巖美溪」、「いちのせき温泉郷」と観光と一体化している強みがあると言えます。

「道の駅」を冒頭に出しましたが色々考えると「旧東磐井地区」にも結構良い場所があ

ります。東山町の日本100景「猯鼻溪」、室根町の霊峰「室根山」（つつじ）、蟻塚公園（桜）、キャンプ場、さらさら室根山天文台、大東町のアストロロマン大東（アスレチック）、藤沢町の館ヶ森エリア（館ヶ森アーク牧場）（岩手サファリパーク）（館ヶ森温泉）等々大人も子供も結構楽しめる場所です。

イベントとしては平泉「春と秋の藤原まつり」、一関「地ビールフェスタ」、「かわさき夏まつり花火大会」、「北上川流域交流Eボート大会」、「藤沢野焼祭」、「唐梅館絵巻」、「日本一のもちつき大会」、「一関・平泉バルーンフェスティバル」、他まだまだ多彩な催しものがありますので興味のある方はネット検索してください。（一関の道の駅、名所、イベント）

先日、岩手日日新聞（本社一関市）に日本古来の製鋼法「たたら製鉄」の再現実験が一関市藤沢町大籠で「大籠キリシタン史跡保存会」が実践した記事が掲載されていました。砂鉄30kgから14kg以上の鉄の塊（鋳 けら）を精製したというものです。この地は江戸時代に「たたら製鉄」の技術指導のため備中国（現岡山県）から千松大八郎、小八郎兄弟を招いたとされており、千松兄弟はキリシタンとしてここで布教を始めると製鉄の労働者が信者として増えていったようです。千松という地名（小字）は幼いころよりよく母親から聞いており、「千松の叔父さんが交通事故で亡くなった。」と小学生低学年の時に母親と一緒に弔問した時の記憶が今でも残っております。

母親の実家への墓参りは季節毎にほぼ欠か

さずに行っています。土地家屋調査士という事業を営んでいるせいか祖父母のご加護願いなのか、供養なのかわかりませんが墓前に手を合わせないと落ち着いた気がしません。

墓参りのため大籠を目指して車を運転していて何気なく見てしまうのが県道脇の少し小高い場所のトキゾウの墓、母親の実家の250m程度手前の大籠カトリック教会（すぐ近くには上野処刑場と書かれた場所）、又母親の実家の旧門口傍に首実検石があります。私の幼い頃の記憶では既に宅地進入路としては使っておりませんでした。がいつも思うのが江戸時代の私の先祖がその時にどういう状況（立場）だったかです。（迫害した側、された側？）

江戸時代のはじめ多くのキリシタンがこの「大籠」で殉教しました。迫害に屈せず信仰を守った信者達の歴史を語り継ぐために「大籠キリシタン殉教公園」として整備されています。思えば私が調査士を目指した測量コンサル見習い時代、この場の測量のため数か月訪れていたことに何か感じるものがあります。

現在は「宗教の自由」ですが伴天連を保護した織田信長、伴天連の布教と同時にスペインやポルトガルは利権のための奴隷貿易（人身売買、日本女性のからゆきさん）が発覚したために伴天連禁止令を出した豊臣秀吉、それを踏襲した徳川幕府（仙台藩）はこの地でのキリシタン弾圧を行ったとのことです。（一関の史跡）

恥ずかしい話になりますが、私の還暦祝い（兄弟会）の席で東京の甥に、こっちは「芦東山 展」のポスターを結構目にしたが何を

した人？」と聞かれ、「医学の研究者だよ。」と苦し紛れに答えたが後で調べると「無刑録」という刑罰について書いた人だと知りました。（目と鼻の先の偉人を知らなかった。）

芦東山記念館を訪れた時、仙台藩磐井郡東山洪民（現一関市大東町洪民）で生まれ仙台藩の儒学者として第5代藩主伊達吉村に仕え藩政に関する考の上言（「七か条の上言」）をしたため処罰されて加美郡宮崎（現宮城県加美郡加美町）及び栗原郡高清水（現宮城県栗原市）で幽閉生活を送り、

その間に刑法思想の根本原理を論じた『無刑録』を完成させた。農家出身の芦東山は庶民・弱者の擁護を念頭に置き、刑罰を見せしめのものではなく教育刑（教化善導）、人間愛と儒者としての信念に基づくものとされていた。（芦東山記念館）（一関の偉人）

還暦が過ぎ早3年が間もなく経過しようとしています。土地家屋調査士として仕事オンリーの人生（家族を顧みず地域のお世話役等を含め）を振り返ると上述のとおり地域の魅力を余りにも知らないまま生きてきた自分に気づかされました。産業、経済、文化、偉人、史跡である神社、寺、城址、洞窟、金の産地（水晶採取。）に起因する地名、「義経北方伝説」に因む黒森（判官九郎義経）、宿泊した寺など歴史や文化、産業、イベントに富む平泉・一関の魅力を1歳と8歳の外孫の成長と共に楽しみ、見聞を広げたいと今更ながら思う今日です。（仕事、仕事で娘と息子には親らしきことをしてやれなかった罪滅ぼしとして。）最後に伊達政宗公の「馬上少年過 世平白髪多 残軀天所赦 不樂是如何」で終わりたいと思います。



大籠カトリック協会



道の駅 むろね



芦東山記念館



道の駅 巖美溪



道の駅 平泉



道の駅 かわさき



## 「ヴィバ鉄道！妄想トレインのすすめ」

沿岸支部 澤 口 雅 友

先日、Y支部長より何やら本会から支部宛寄稿依頼が来ているとの連絡があり、大所帯の沿岸支部に文才に長けた他の会員にお願いすればと言っても後の祭り、結局この筆無精で万事ギリギリ派の私に何故にと思いながら、今度は編集委員でなく、寄稿者の苦勞を知ることに相成りました。寄稿内容については、業務に関してでは先輩諸氏の博識恐れ多く、趣味的な内容で良いとのことを受けての内容であることを先にお断りしておきますので、ご了承いただければ幸いです。

[まえがき] 鉄道ゲームの再来！？

ここ2年近くコロナ禍自粛要請で、旅好きな諸氏も、我慢をしいられているのは皆同じく、特に今年になってからは集客喚起策ということでしょうか、各旅行交通業界も以前になかったような企画やそれに鉄道タイアップ旅番組が増えたような気がします。巷では御朱印帳ならぬ鉄印帳なるものも生まれ、若い女性を中心として旅は、移動中あるいは旅先での飲食や出会いなど、只の移動手段ではない鉄道の楽しみ方を提案してくれていて、いよいよメジャーになっていくのか鉄オタ(鉄道マニア) がと期待反面わびしさも感じるところであり、それ見聞きしながら私の鉄道見聞記録をご紹介しますと思います。

[第1章] — [電車運転士を夢見る]

私の小学校の低学年当時(昭和45年～47年頃?)の好きなものといえば、ご多分にもれず自動車派で、旧車好きなら皆ご存じのトヨタ80\*やスカイ\*\*\*2000GT\*、コスモなんちゃら、1\*7クーペなど町で見かけては(当時の私の地元釜石には乗ってた人が結構いました)驚喜していたものでした。一方鉄道の方は親父の出張に当時

は急行「陸中」(宮古発の山田釜石線経由のキハ58系\*1気動車で東北本線仙台行)でついて行く機会や、父母の実家が岩手町沼宮内にあったものですから、盆に遊びに行くと、近くを通っているのが東北本線(現IGR岩手銀河鉄道)ですから朝早起きしては、ブルートレイン20系客車寝台特急「ゆうづる」や583系電車寝台特急「はくつる」などが青森方面に通過していく写真を親のカメラで撮りまくる(今でいう撮り鉄)といった状況から徐々に鉄のフォースにかかりはじめました。また都会に住む歳が離れていた兄姉のせいもあって、東京に行く際には、釜石線急行「はやちね」で花巻から特急485系「やまびこ」(ボンネット型)で上野まで乗って、食堂車で食べてた記憶があります。(今にしてみれば相当な贅沢ですね)その頃でしたか花巻駅では温泉に行く路面電車がちょうど廃止の時期であったりして、なつかしい風景がよみがえりますが、鉄道に熱い時期も小学生の頃までで、小学校の卒業文集には将来の夢は特急電車の運転士と書くまでになっていたものいつのまにかレール熱はなぜか冷めてしまいました。

その後は測量専門学校に進学のため上京するも、1980年代全盛期のブルートレインを上野駅や東京駅に撮りに行く(今にしてみればかなりもったいなかったかも)でもなし、常磐線快速で毎日通学する生活だけで地元に戻ってきてしまいましたので、鉄道とは縁の離れた時期がしばらく続きました。しいて言えば当時通っていた専門学校の秋の合宿というのがあって、長野県の軽井沢に現地集合でしたので、と言っても189系特急「あさま」ではなく信越線経由の各駅停車で行き、電気機関

車連結時間にはお決まりの横川の峠の釜めしを買って碓氷（うすい）峠を越えた（現在横川～軽井沢間は廃止）というのが今となっては唯一救いかもしれません。もちろん途中、高崎だるま弁当もいただきましたが。

その後はいまでいう「青春18きっぷ」のようなものがあつたのかも定かでなく、あつたとしても利用することもなくすでに鉄ちゃん熱は冷めておりました。

## 【第2章】 - 【レール熱の再燃】

既に相当な月日も流れ、結婚しおかげさまで2人の娘に恵まれましたが、どなたかの教育よろしく今でいうところの鉄子にはならず、相変わらず鉄道との接点と言えば、東京駅の新幹線改札口を出れば、左に曲がり只ひたすら京葉線の地下ホームへ、ネズミの住む夢の国へ向かう行列に抱持ちで加わるという難行苦行を何年も繰り返しておりました。思えばおそらくこの頃は、鉄道好きであった幼少時の記憶は何か前世でのことではないかと考えていたのかもしれません。

さてその修行のご褒美なのか転機がやってきました。平成27年梅雨頃に当時の齋藤沿岸支部長から、支部として久しく実施していなかった研修旅行を企画したいと相談され成り行きで研修行程を計画を任せられ、その際当然ですが、あくまで土地家屋調査士研修としてふさわしい行き先と内容の吟味、そして手段、旅費などを旅行会社と何度も打合せのうえ、伊勢神宮参拝を観光を交えての選定にすることで支部長に了承を得て、細部の計画考えました。ここで移動交通手段としては、今の私が当時でしたら新幹線N700系のぞみ、いやこの際500系の300キロでぶっ飛ばすか（当時は既に運用は終了して現在山陽新幹線で運用中）とか、国鉄時代から定期運用終了になる前に185系特急電車「踊り子」でモーター音を記憶にとどめておくため伊豆あたりでちょっと寄り道などと、現地での時間が短くなるなど関係なく行程を組んだのかもしれませんが、そこは王道の花巻～名古屋（小牧）という飛行機を選択、伊勢神宮までの先は旅

行会社のアドバイスどおり近鉄特急で行くこととなりました。がこれはあくまで研修旅行であり、研修内容の検討をしていると、復路について鉄道情報を調べたところ、近鉄特急に「しまかぜ」という研修に適しそうな個室を備えた観光列車がデビューしたとあり、早速旅行会社に相談したのですが、相当な人気列車でまず空きはなく取るのはむずかしいでしょうという回答でした。がここは鉄運を信じていた待っていたところへ見事に当選通知、これもお伊勢参り事前御利益かという、都合よく判断しがちな鉄オタ熱再燃の始まりの予感でした。



こりゃーむずかしいなあ、【近鉄特急しまかぜにて】

## 【第3章】 - 【レール旅の役得編ほか】

①平成29年春の土地家屋調査士協会でも研修旅行の企画をする担当となり、沿岸支部旅行の幹事を引き受けたことによる鉄道熱に再燃を受けて計画を練ることになったのですが、協会沿岸地区は人数も少ないため、神奈川県三浦市にある国土地理院油壺検潮場を見学するという小規模な発想をしたのですが、実のところ京浜急行久里浜線の終点三崎口まで到達したいという乗り鉄願望から生まれたものです。奇しくもY沿岸支部長との2人旅になりましたが、ご同行いただきたいへん感謝いたします。翌日は単独行動にて降車できない駅で有名な？ JR鶴見線の終点「海芝浦」駅まで到達して鉄オタ完全復活となりました。

\* 1キハ58系当時国鉄の代表的急行型ディーゼルカー。エアコンなしの扇風機付。以後の鉄道用語はあまりにもマニアックなため注釈は付しませんので興味のある方はウィキペディアでどうぞ)





「京浜急行」の最南端神奈川県三浦市三崎口



「海芝浦」駅で発車を待つ鶴見線電車、降車は左手工場の従業員専用のため一般の人は降車不可、但し眺めは絶景

②令和元年はさらに飛躍の年となりまして、また企画することになった春の土地家屋調査士協会の研修旅行は、当初箱根として小田急ロマンスカー GSE、VSE それと登山鉄道に構想を振ったのですが、あいにく火山活動による入山規制がはじまったことから、富士山麓に路線変更し富士急行「富士山ビュー特急」に乗車する計画変更を行い、憧れの水戸岡鋭治氏デザイン車両により乗車できたのですが、鉄オタ熱が過ぎたのか否か富士山が顔を出してくれず、同行の方にはちょっと残念な思いをさせてしまったかもしれません。



③さらに同年11月には沿岸支部の研修旅行が計画されたのですが、東京都内お台場での催し参加のため前日現地集合参加となったことに加え、お得なキップの発売時期が重なることをいいことに、今度は単独で合流前に昔越えた群馬県碓氷峠を經由して長野県松本市に設置されている土地家屋調査士制度発祥の地記念碑の見学を経た鉄旅を組み込みその後合流という計画を企てました。以下が概要行程です。

「1日目」  
新花巻 (E 5系はやぶさ)  
～大宮 (E 7系とき編成)  
～高崎 (211系信越線経



由)～横川下車(終点)、横川軽井沢間廃止後に設置された碓氷峠鉄道文化村を視察(堪能?)してから軽井沢へ路線バスにて碓氷峠越え、軽井沢(北陸新幹線W 7系あさま)～長野下車後善光寺参拝、長野(383系特急ワイドビューしなの、篠ノ井線経由)～松本下車(泊)

「2日目」松本市内記念碑～松本城見学、松本(E353系特急あずさ)～新宿、到着後支部会員と合流 ※383系、E353系共振り子式車両

結果はほぼ計画通りでしたが、長野から松本へ向かう篠ノ井線姨捨(おぼすて)駅(スイッチバック駅、日本三大車窓の1つ)は通過だったので、これはまたリベンジせねばというところでした。

#### [最終章] — [鉄道の楽しみあれこれ]

ここまで鉄道好きの悪い癖で話が長いくだりを書いてしまいましたが、鉄道の楽しみ方は千差万別、今や乗り鉄、見鉄、撮り鉄派のみならず、呑み鉄、音鉄、嗅ぎ鉄、さらには架空鉄などもあるそうでたいへん奥が深く、時刻表を眺めながら妄想トレインから脱却する時期が1日も早くよう願ってやみません。

さて、これを書いている最中、全国鉄道ファンにはたいへんショックな知らせが入ってきました。東日本大震災後ほどなくして東北の復興を応

援するため、復活しJR釜石線を走ってきたSL銀河が再来年春をもって運行を終了するとの情報が飛び込んできました。有志により岩手県営運動公園内で大事に整備保管されてきて、思わぬ形で大出世したC58239号機はきっと別の地に移動しても同じようにその地域を元気づけるため活躍するものと思います。(ちょっと早いですが、泣)

さいごに、会員の皆さんの中に絶対に鉄オタ(マニア)がいると推察いたしますので、ぜひファンクラブを堂々と(笑)結成いたしましょう。なお以上の記載した鉄道内容の不備な点についてはご容赦いただければ幸いです。個人的な備忘録におつきあいいただきありがとうございます。



遠野駅で発車を待つ快速「SL銀河」C58239号機

※妄想中

- ・鉄道王国秋田青森の旅(五能線快速リゾートしらかみ号を中心に)
- ・「森と水とロマンの鉄道」磐越西線の旅(SLばんえつ物語号に)
- ・サンライズ出雲で行く、出雲大社詣の旅(唯一残る寝台特急電車乗車のため)
- ・時速130kmディーゼル特急「スーパーはくと」で行く山陰智頭急行の旅
- ・在来線最速683系特急「サンダーバード」で行く日本海走破(新幹線開通前に)
- ・JR九州特急「ゆふいんの森」(水戸岡鋭治監修車両)で行く大分豊後森機関庫ノスタルジー旅

e t c .





## 「昔を思う（続き）」

県北支部 古山 敬

本会執行部の皆様、日々事業の執行に御尽力をいただき誠にありがとうございます。

昨年に続き「黎明」の寄稿依頼が来ました。今回は支部の中から寄稿者を選抜してというのではなく、私個人宛に来たものと勝手に解釈し私が書きます。テーマは、地域の魅力、支部の事業、趣味等分野を問わないとありました。地域の魅力は、灯台下暗しでよくわかりませんが内陸と違って雪も比較的少なく寒暖の差もあまりなく、また海・山・川があっていいところだと思っています。支部の事業は、私が「からなき」なので特に何かを行っているわけではありません。県北支部会員の中には様々な事業や奉仕活動に参加し活躍している方が沢山いるので、とても誇りに思います。

本題はやはり私事を書きます。前回に引き続きすみません。

調査士試験に合格したとき、妻からお祝いに何か買ってあげるといわれオートバイと答えましたがその時車種を決められず現金を預かりました。そのお金は、金庫の中で事務所の非常用資金として活躍し、使っては補充、使っては補充を繰り返し二十数年経ち、これ以上年を取っては乗れなくなるとの妻の助言から、令和元年10月に栃木県の販売店から購入しました。雨の降る日、大型のトラックに積み込まれ自宅前に運ばれてきたときは感動というより隣近所の人目が気になり恥ずかしさで血圧が上昇しました。とはいえひそかに歓喜に浸るひと時です。しかしそれもつかの間、愕然としたのは日頃境界杭の打設や埋設で鍛えていたとはいえ若いころと違い加齢に

より衰えた筋肉がバイクの重さを支えられなくなっていたことです。考えたら当たり前です。バイクの重量は約220キログラム、私の年齢は63です。購入してから2年、トータルの走行距離はたったの200キロメートル、人目を避け実家である宇部町大渡の空家の池にいる鯉のエサやり回数に数回行ったのがやっと、若いころ鍛えたでっかちな頭にヘルメットをかぶると締め付けられ、それだけでもクラクラします。二十数年間恋焦がれたバイクを目の前に複雑な心境であることをお察しく下さい。

さてここで宇部町大渡の話が出てしまいました。前回の「黎明」をご覧いただいた方は少し記憶にあるかもしれません。前回小学校までを書きましたので今回はその続きを書きます。自慢話の羅列になりますので、例によって良識ある方はここから先を読まないようお勧めします。私の家から中学校までは約5.5キロメートル、道程の3分の2は車一台がやっと通る凸凹の山道です。実家の標高は約250メートル、中学校の標高は約50メートル、したがって学校まではほぼ全部下り、帰りはほぼ全部上り(あたりまえ)。父親と一緒に「ザ・ガードマンやキーハンター」を映りの悪い白黒テレビで視聴し夜更かしするため早起きができず登校時は常にマラソン状態、下り道なのでスピードは出るものの、上半身にかかるカバンの重みに比し下半身への荷重負担は大きく、成長期の大事な発達を阻害し小学6年時の長さを維持させてしまいました。学校から家への帰りに要する時間は上りのため一時間半ぐらい、秋から冬にかけての山道の帰途

は道に覆いかぶさる樹木のため月明かりのない日や曇りの日は真っ暗、なぜかほとんどの日々を一人で帰ります。くたびれた懐中電灯はありましたが、親からの電池の供給がなく使うことはありません。熊と遭遇する可能性が高い昨今では絶対に歩くことはできません。部活は一年の時にブラバンを半年、マット運動がしたくて入った意味不明のテニス部を一年半経験しましたがテニスは全くできません。テニスシューズとラケットを買うお金を親に言えず苦悩した記憶があります。後にシューズは買ったと思いますがラケットを買った記憶はありません。地方大会で、当時強かった中野中学を破って優勝し県大会に出場しました。もちろんマット運動の私は補欠で一個も打球は打っていません。一クラスの人気は40人で、勉強の出来高ランキングはほぼ10番目、もちろん下から。そんな訳で、中学3年の卒業時には高校進学でもなく就職でもなく宙ぶらりん、進路最終決定で久慈市内にある登記の仕事をする事務所からバイトの求人があり行くことに決定。登記も司法書士も全く知らない読み方さえも知らない世界へ突入することになります。着るものもなく学生服姿のまま事務所にはぼ～っと座っている毎日。ある日「ひろさき総合銀行(現在のみち

のく銀行)」から書類を預かって来るよう命じられすぐそこだと指さされた方角に自転車で向かいました。指示されたと思われる場所に着きましたが何度見ても「ひろさき総合銀行」はありません。自転車だとたったの3分で行くはずのところを30分もうろつき、さすがに焦りを感じたので勇気をもって通りすがりの人から聞きました。するとなんと目の前、十数回も通ったところ、「弘前」を「ひろさき」と読むわけです。さすが下から10番目、書いている私が疲れています。

和文タイプライターによる登記申請書の作成、登記簿の閲覧などそこそこに慣れちよつとした接客もできるようになりました。司法書士事務所入所と同時に定時制高校に入学することが歴代の先輩バイトからの慣習(条件)で、昼は事務所で仕事、夜は定時制で勉強、さらには部活を行うという充実した日々を送っていた、ことにします。退職・卒業後の東京在住の3年間を除けば15歳から65歳11か月の現在まで約48年間登記に関わる仕事をしてきたことになります。「ザ・ガードマンとキーハンター」のお陰です。しかし間違っただけでギリギリ合格した私にとって土地家屋調査士の業務は年々益々難しくなるばかり。でも孫と顧客のためもうちょっと頑張ってみよう。



## 「盛岡支部総会は 八幡町通の「さわだや」であった」

盛岡支部 小笠原 九二男

9月15日と言えば盛岡八幡宮祭典の中日で、いつもは参拝客が多いが今年はコロナの関係もありどうかなあと思いつつ、幼い頃を思い出しながら見に行つた。

途中で、盛岡支部総会の場所のことを思い出し、八幡町通りの中程に来ると「料亭さわだや」の跡地であったことを書いた小さな立て看板を見つけた。そこが私の記憶にある「さわだや」で昭和43年に支部総会にはじめて参加した場所であった。その「さわだや」は村上と言う女将がこの場所に料亭を開き、いまは改装して別な飲食店となっていた。

当時を思い返すと、料亭の中に入るとすぐに勾配のある階段をのぼり上った二階に大広間があり、会場の窓際には重鎮の先輩先生方が座っていた。

そこには、大山文次郎、田屋館徳右衛門、蛇口

哲三、松本多正の先輩諸侯が、座敷の真ん中には小森和質、玉山勝郎、渡辺勢三郎、深沢仁、七木田正雄の諸氏面々が顔を揃えて座っていた。

当時の盛岡支部の会員数は90人くらいで、総会が始まってから議論が長引かなか終わらない。その理由は調査士個々の受注に格差が大きく支部予算の編成に問題があるというのが長引く議論の原因であった。

一階では料理がとっくに出来上がり、早く終わるように仲居さんから催促を受け、総会が終わるとすぐに廊下の板ノ間へ我々新米調査士が料理を運ぶ羽目になったのだった。

わたくしは84才となり、会員の皆様への指導力もなく又会員を激励の言葉を発する力もありませんが、いまここに50年前のことを突如として思い出した次第です。



## 「負の遺産？」

高橋 義信

「やっと買えることになったから測ってけろ」と喜んでやって来た知人のKさん。30年ほど前からの夢がやっと叶って、譲ってもらえことになった土地の話だった。

Kさんの土地はSさんの山が道路との間にあり道路から直接入れない土地だった。Sさんの山を避け大きく回り道をし通っていいよと言われた知人の土地から自分の土地にたどり着いていた。Kさんはそこに行くたびに「道路から直接入れたらなあ」と思い今まで何度となくSさんに「入り口分を譲って欲しい」とお願いしてきたのだった。

Kさんは、また頼んでみようかとSさん宅を数年ぶりで訪ねた。Sさんの姿は見えなかったがSさんの妻T子さんがいたので、すかさず「入口を譲ってほしくてなあ」と言ったら一つ返事で「いいよ」と言われたそうだ。Kさんは「どうも、Sさんが亡くなっているようだ」と言った。

早速その土地を調べてみると数年前に相続で妻T子さんの名義になっていた。買い手からの依頼なのでT子さん宅を訪ね挨拶に伺った。「測らせてもらう事になったので宜しく」と話したら『あー、あの「負の遺産」はイラネがら宜しく』と言われた。聞くと夫のSさんが元気な頃、山の境で隣とゴタゴタがあっついやな思いをしていた事があったそうだ。その山を相続し自分名義になった。当時の夫の姿を思い出して「負の遺産」だというのだった。

依頼のあったT子さんの山は今まで測量した経緯は無く地積測量図などは無かった。隣接地に昭和の終わり頃に作成された分筆図面が1枚あった。それを調べてみたらT子さんの土地と隣接図面の求積部分が接しており地籍図の辺長と比べると公差を超える長さが記されている測量図である

ことが解った。

私たちの大先輩も今できる最大限の間違いないものを残そうと努力し必死になって作成した分筆地積測量図に違いない。当時は光波も無く図根点もなかなか見当たらず、距離を測るのに草刈りからの時代だ。実に苦勞の多い作業の末の地積測量図なのだ。古い図面や資料でも私たち先輩が残されたものを読む時は先輩の皆さんが様々引き継ぎ努力してきたお陰で私達が今日この仕事で生活ができているとの思いに至る。

確かに形が公図と似ていれば登記が通った時代はあった。しかし、今日のように現地の位置も含めて現わす図面の時代に備え付けの図面が存するからといって、それに拘りその距離を維持すると、これからの仲間たちは戸惑ってしまう事になる。今では1日で申請地の近傍に高精度の測量基準点を設置し、TSで簡単に地籍図筆界点を再現できる時代だ。先輩の皆さんの努力に感謝しながらも、今の時代に合ったものへ変えていかなければなりません。今の登記官にも説明でき理解される内容だ。隣接の1枚の測量図に拘らず地籍図に基づき各筆界点を再現した。

さて立会案内だが私は原則直接お会いし手渡すことにしている。隣接人と立会前の面談で測量予定地の所有者への思いやその土地について、「ここだけの話し」などと言って心の内を明かされる事もある。それが現地立会で、こちらの話し方の心の準備に役立つからだ。

立会関係人の一人で登記が35年前の人が居た。登記簿にある市内の住所を訪ねてみると飲み屋街のど真ん中で今では住宅など1軒もない。その辺で聞いてみても全くわからず、その人に辿り着けないのではと思ってしまった。

この人には長い時間を要したが、なんとか面談できた。こんな時もっと短い時間で確実に隣接人の現住所を知る方法はないものだろうかと思う。最近では、調査地の隣に家があるので安心して現地調査を始めても空き家になっていて、空き家の隣地人も連絡先が解らないということがよくあり、本当にになにかと難しい時代になってきたものだ。

市町村の資産税課では所有者または納税義務者を確認している訳だから、権利の明確化のためという事でなんとか私たちに開示してもらいたいものです。各支部ごとに市町村長に陳情でもしたら実現するのかなとフト思いました。

さて、なんとか関係人も確認できていよいよ現地立会です。この現地立会でいつもすんなりと行くとは限りません。いるんです、時として難しい方が。年の頃80近いゲンキのいい方がおりました。この方に仮点を指し「ここが公図のこの点で」と話した途端に「こんなハズない、こんなデタラメな事はない」と大声で怒鳴られました。「ドゴ測ってんだ、何やってんだ！」と大声が止まりません。こちらが話す隙間もありません。こんな時、先輩の話しが頭に浮かぶ。「一緒になって興奮してはダメ、まず相手の話を聞く。徹底して聞く。人は思いの丈を話せば次第に心も落ち着く。そうして、その人の気持ちに同調する。その上でゆっくり時間をかけて説明をする。」と言われたことを。

このようなゲンキのいい難しい隣人さんと巡り

会おうと、時間をタツプリとって話し合う事になります。どっちが依頼されたお客様か解らなくなるほど時間をかける事になります。変な仕事だなあと思ってしまいます。それでも、このような難しい方々と本末転倒したような時間配分の結果が後になって偶然にも会ったりすると、笑顔の素敵な人になっているので時間をかけて話してよかったなあと嬉しくなる事が多いのです。

今回はこちらから2回、あちらから1回の声かけがあり、結果、1ヶ月近い時間をかけたところでゲンキのいい隣人さんが「おまえの話もわかった」と言ってくれたのです。すかさず立ち会い署名をお願いしたら、この隣人さん署名をしながら「このままじゃ、あんたが売りたいと思ったとき売れないかもよと家内から言われてな」と言いながら署名してくれた。女房強し、俺ん家とおんなじだと思った。

筆界に関して多少イザコザが有る現場に自分が関わった事により全てまるく治まれば最高だ。が、それが叶わなかったとしても今までよりは隣接人が互いに穏やかになる事ができたと言ってもらえる私たちであることを願いたいと思う。なんたって「筆界を明らかにする業務の専門家」なんだから、決して「負の遺産だ」などと思う人を作らないために頑張っていきたいものです。

さて、明日はどんな人と巡り会うことになるのかな。明日の新たな人との出会いを楽しんで行くことにしようっと。

## 2021年度 常任理事・理事者の紹介



佐藤 保 盛岡支部 役職 副会長

Q1 入会年を教えてください。

1998年（平成10年）

Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。

ハウスメーカー営業職を退職後に就職した建設会社で不動産部門に配属になり、宅建と測量士補を持っていたことから上司に受験を勧められたことがきっかけでした。（実は土地家屋調査士をよく知りませんでした。）

Q3 趣味はなんですか。

ゴルフ、乱読（電子書籍）

Q4 今一番欲しいものはなんですか。

そう言われると今は特に無いかも…

Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。

バランス感覚、ニュートラルポジション

Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。

今期は総務財務担当の副会長を拝命しました。小笠原会長、田頭総務部長と総務三役仲良く手を取り合って、円滑な会務運営を目指して参りますので、宜しくお願い致します。



千葉 正和 水沢支部 役職 副会長

Q1 入会年を教えてください。

2004年（平成16年）

Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。

測量会社に勤めていたとき、この資格のことを知り測量技術を生かせるのではないかと考えたから。

Q3 趣味はなんですか。

本を読みながら寝落ちすること。

Q4 今一番欲しいものはなんですか。

2匹目のねこ。飼主の気持ちをくみ取って膝の上に乗ってくる猫が良い。

Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。

関係者から出来るだけお話を伺い、次に説明をすることによって理解をしてもらうよう心掛けています。

Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。

初めて業務・研修に携わることになりました。会員の皆さんが望む研修内容を取り上げ、適切に情報提供が出来るよう部員と共に取り組んで行きます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 新 田 謙一郎 花巻支部 役職 副会長

---

- Q1 入会年を教えてください。**  
2005年（平成17年）
- Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。**  
前職の営業では、それなりの成績は残せたのですが、結局最後に残るのは数字だけ。将来の自分と家族のこれからに不安を感じ、何か人の為になる国家資格をとるべきと考えたから。
- Q3 趣味はなんですか。**  
以前はゴルフ一筋でしたが、現在は釣りに超夢中です。
- Q4 今一番欲しいものはなんですか。**  
ロト7の当選番号しかないでしょう。
- Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。**  
一期一会の気持ちを持って、関係者と真正面向き合う事です。
- Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。**  
役員となり5期目を迎えます。昨年度まで財務畑だけだったので、担当となりました社会事業部とセンター、そして広報部のそれぞれの活動内容は正直まだ熟知しておりません。各部員の方々と、しっかりとコミュニケーションを取り、何をすべきか何ができるかを考え、実行して行こうと思います。今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 田 頭 正 之 盛岡支部 役職 総務部長

---

- Q1 入会年を教えてください。**  
2007年（平成19年）
- Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。**  
24歳まで定職に就けず悩み当時司法書士をしていた父に相談をしたところ、土地家屋調査士を目指すなら手を貸すと言われたから。
- Q3 趣味はなんですか。**  
ゴルフと妻を喜ばせること。
- Q4 今一番欲しいものはなんですか。**  
プライベートゴルフ練習場
- Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。**  
依頼者と隣接者が共に納得すること。
- Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。**  
出来の悪い無能な総務部長ですので皆様にはご迷惑をお掛けしますがご支援の程宜しくお願いいたします。





## 小田島 朋 道 花巻支部 役職 財務部長

---

- Q1 入会年を教えてください。**  
2013年（平成25年）
- Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。**  
以前に勤めていた測量設計会社で土地家屋調査士という仕事を知り興味を持ちました。
- Q3 趣味はなんですか。**  
これと言った趣味はありませんが、長男の部活や長女のスポ少の追っかけで忙しい週末を過ごしています。
- Q4 今一番欲しいものはなんですか。**  
どこでもドア
- Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。**  
よく話を聴くこと、丁寧な説明をすることを心掛けています。
- Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。**  
昨年から続くコロナ禍などの影響もあり、財政計画の見通しが立ちづらい状況となっております。そのような状況下ではありますが、安定的に会務が運営できるように皆様のご理解とご協力を頂きながら勉強していきたく思いますので、今後とも宜しくお願い致します。



## 阿 部 裕 明 花巻支部 役職 業務・研修部長

---

- Q1 入会年を教えてください。**  
2007年（平成19年）
- Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。**  
大学3年生の夏に身の振り方で迷っていた時に、父親に「調査士取ろっかな」とポロっと言ったことがオオゴトになり、後に引けなくなったから。
- Q3 趣味はなんですか。**  
ベランダでひとりBBQ。  
お伊勢参り。（最近はコロナで行けず涙）
- Q4 今一番欲しいものはなんですか。**  
飲みすぎても次の日に響かない丈夫な肝臓。
- Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。**  
相手の話を良く聞き、相手に分かり易く説明をすること。
- Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。**  
2期目の業務・研修部長ですが、元々得意な訳では無いため、日々勉強しながら務めております。業務に役立つ研修会を企画したいと考えておりますので、会員皆様からのリクエストお待ちしております。至らない部分も多くありますが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



## 上 田 直 輝 花巻支部 役職 広報部長

---

**Q1 入会年を教えてください。**

2011年（平成23年）

**Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。**

祖父、父親と土地家屋調査士を営む家庭で育ち、休日は家族サービスをしてくれたりと魅力を感じていたから

**Q3 趣味はなんですか。**

現在はゴルフにハマっていますが、BBQやキャンプが好き

**Q4 今一番欲しいものはなんですか。**

ホールインワン

**Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。**

時間もかかりますが、依頼者や隣接者へ まずは手紙ではなく対面し面談することです。

**Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。**

はじめての常任・広報部長として、会員の活躍を知っていただく広報、土地家屋調査士の制度啓発に繋がる広報を目指し日々勉強しております。様々な場面で皆様のお知恵やご支援を賜りたいと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。



## 永 野 智 之 盛岡支部 役職 社会事業部長

---

**Q1 入会年を教えてください。**

2012年（平成24年）

**Q2 土地家屋調査士を目指したきっかけを教えてください。**

測量コンサル在職中に地積測量図での作成者欄より土地家屋調査士の資格を知り、士業の一人でもある職業に興味を持ちました。

**Q3 趣味はなんですか。**

読書

**Q4 今一番欲しいものはなんですか。**

ゆとり

**Q5 仕事をするうえで心掛けている事はなんですか。**

依頼者及び関係者への配慮・説明対応、現場での安全対策事務ミスの防止

**Q6 会員へ向けメッセージをお願いします。**

社会事業部では「境界問題相談センターいわて」や公共嘱託登記土地家屋調査士協会との連携及び、「筆界特定制度」、「地図の作成整備等」、「所有者不明土地の解消」に関する情報収集、調査研究の事業対応を行っております。

会員の皆様におかれましては、日頃から会務運営にご協力を賜り、この場をお借りし御礼申し上げます。私としても土地家屋調査士倫理綱領でもある『使命、公正、研鑽』を心し、会務運営において少しでも成長できればと思いますので、今後とも皆様よりご指導ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。



すず き ふみ あき  
**鈴木史章** (盛岡支部)

事務所：盛岡市愛宕町11番22号

経歴：平成5年	岩手県立宮古高等学校普通科	卒業
平成11年	国土建設学院測量科	卒業
平成14年	土地家屋調査士試験	合格
平成15年	株式会社鈴木測量設計	勤務
令和2年	土地家屋調査士	登録

令和2年3月に登録いたしました鈴木史章と申します。私は一度調査士登録を受けておりましたが、実家の測量会社が東日本大震災で浸水し、震災復興に係り専念する事として一旦登録を抹消しておりました。

近年、生きるという事は自分の力ではなく、社会で出会う皆様から生かされるものであると、痛切に感じております。社会で生きる事は人との出会いと同義であり、出会いの無い

生き方をしている、社会で生きているとは言えないのではないかと、悩みが尽きません。

このコロナ禍においても、出会いを求め、皆様と一緒に女性のいるお店に行きたいです。不動産を通じて地域社会の維持発展に貢献できる様、日々努力して参ります。皆様ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。



わた なべ ひろし  
**渡邊寛** (水沢支部)

事務所：奥州市江刺愛宕字観音堂沖102番地1

経歴：平成16年	白鴎大学法学部	卒業
平成16年	プリズム・ジャパン株式会社	勤務
平成20年	株式会社建築資料研究社日建学院	勤務
平成25年	JA岩手ふるさと農業協同組合	勤務
平成31年	土地家屋調査士試験	合格
平成31年	土地家屋調査士菊池直喜事務所	勤務
令和2年	土地家屋調査士	登録

大学卒業後は、測量や登記とは全く関係のない仕事をしておりました。ただ、いずれは自分の名前で仕事がしたいという思いがあった為、法学部卒業で登記関係に興味があったので調査士試験頑張れば取れるのではないかと思います。合格までに数年掛かりましたがなんとか取得することが出来ました。

測量経験が全くなく調査士としての実務の現場がどういふものかわからない状況で、ど

こか経験を積ませてもらえる事務所があるか不安でしたが、当時調査士会の会長をやられていた菊池直喜先生の事務所に入所させていただくことが出来ました。補助者として1年弱仕事を学び、実務についての知識や技術は必死に覚えていかなければならないと日々痛感しております。4月から調査士登録ということで責任は重くなりますが、努力を怠ることなく業務に取り組んで参りたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



きく ち たか や  
**菊池 貴也** (盛岡支部)

**事務所**：盛岡市山岸六丁目47番3号

**経歴**：平成6年 岩手県立遠野高等学校 卒業  
 平成8年 東北理工専門学校 卒業  
 平成8年 松浦和博土地家屋調査士事務所 勤務  
 (現藤村・葛巻・阿部土地家屋調査士事務所)  
 平成31年 土地家屋調査士試験 合格  
 令和2年 土地家屋調査士 登録

令和2年4月1日に岩手県土地家屋調査士会盛岡支部に入会致しました菊池貴也と申します。出身は遠野市綾織町です。高校卒業後、宮城県の東北理工専門学校測量科2年課程を卒業し、松浦調査士事務所で補助者として勤務しておりました。

松浦調査士が亡くなられた後も、藤村誠調査士、葛巻弘志調査士、阿部彦司調査士のもと色々ご指導を頂き、平成31年に試験合格を致しました。

長い間補助者としての経験を積んで参りましたが、土地家屋調査士としては新人です。しかし、資格者となった今、世間には「新人ですの」は通用しません。資格者として品位を保持し、知識の研鑽、技術の向上に日々努めて参りたいと思います。

開業してまだ間もないですが、まだまだ勉強不足のためこれから先諸先輩の方々にはご指導や助言等頂く機会があると思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。



あ べ おさむ  
**阿部 修** (水沢支部)

**事務所**：奥州市水沢大手町二丁目53番地

**経歴**：昭和56年 岩手大学工学部金属工学科 卒業  
 昭和56年 金属加工業(奥州市) 勤務  
 昭和59年 非鉄金属加工業(奥州市) 勤務  
 平成9年 東北理工専門学校 卒業  
 平成9年 土地家屋調査士高橋悦彌事務所 勤務  
 平成20年 土地家屋調査士佐藤浩康事務所 勤務  
 令和2年 土地家屋調査士試験 合格  
 令和2年 土地家屋調査士 登録

令和2年4月に岩手県土地家屋調査士会に入会致しました阿部修と申します。社会に出て、金属関係のエンジニアを目指して仕事をし、大手の会社に出張する等、社会人としての勉強の日々を送っていました。

その後、測量業務に興味を持ち、土地家屋調査士高橋悦彌事務所、佐藤浩康事務所で補助者として仕事を教えていただきました。まもなく定年の時に勉強を始め、何とか土地家屋調査士試験に合格することができ、事務

所を開設するにあたっては、先輩土地家屋調査士の先生方や友人等、多くの皆様のご助言、ご支援をいただきました。

土地家屋調査士としてはまだまだ未熟ですが、相手の話を真摯に受け止め、誠実に業務を行うことを念頭に置き、技能、知識の習得に努め、1日も早く社会に貢献出来るよう努力してまいります。今後共、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたく、よろしくお申し上げます。



くら さわ やす ゆき  
倉 澤 康 行 (盛岡支部)

事務所：盛岡市本宮三丁目18番20号

経 歴：平成18年 岩手県立宮古高等学校普通科 卒業  
平成22年 岩手県立大学総合政策学部総合政策学科 卒業  
平成22年 岩手県交通株式会社釜石営業所 勤務  
平成25年 土地家屋調査士田中紀大事務所 勤務  
令和2年 土地家屋調査士試験 合格  
令和2年 土地家屋調査士 登録

令和2年4月1日付で登録・入会になりました倉澤康行と申します。よろしくお願いいたします。これと言って特筆すべき趣味はないのですが、世間で賑わっている流行りの物には、とりあえず手を出してみようと心掛けて思うようにしています。

出身は下閉伊郡山田町で、大学卒業後は、岩手県交通株式会社で運行管理者として勤務しておりました。釜石の営業所で震災に遭い、建物は壊れ、地盤は沈下し、海のようになった場所をバスが走っていたことを覚えております。

退職後、盛岡で職を探していたところ、土地家屋調査士田中紀大事務所の求人を拝見し応募しました。当時は、「測量ってカメラみたいなの使うのかな」とか「不動産業界みたいなのかな」と、土地家

屋調査士とは何なのか全くわからない状態で面接に臨みました。今思うと、大変失礼な心構えで業界に入ろうとしておりました。

その後、知識も経験もない中で補助者として登録し、数年後の令和元年度の土地家屋調査士試験に合格、令和2年4月1日付けで登録させていただきました。これも周囲の方々のご支援があったからだと感じいたします。

まだ実務経験も少なく浅い知識しかございませんが、土地家屋調査士として一日もはやく社会貢献できるように頑張りたいと思います。色々とお世話になることが多く出てくるかと思いますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。



ひ した まさ ひろ  
日 下 雅 広 (盛岡支部)

事務所：盛岡市西仙北二丁目8番27号

経 歴：平成21年 東北大学農学部生物生産科学科 卒業  
平成21年 株式会社アズシード 勤務  
平成22年 土地家屋調査士岩山勝英事務所 勤務  
平成27年 土地家屋調査士小笠原九二男・小笠原寿男  
・岩山勝英合同事務所 勤務  
令和2年 土地家屋調査士試験 合格  
令和2年 土地家屋調査士 登録

令和2年4月1日に入会しました、日下雅広（ひしたまさひろ）と申します。よろしくお願いいたします。

大学卒業後就職するもすぐに辞めてしまい自分が何が残っているのだろうか・・・というところから私の人生が再スタートしたのですが、幸運にも測量会社のバイトとして雇ってもらうことができました。もちろんバイトなので深く業務に携わることはありませんが、現場作業を手伝ったり、CADをいじらせてもらったり、登記記録の読み方を教わったりとしている中で、私はこういう仕事に向いていると感じました。

バイトは期間満了で終わり、再び無職で次の職を

探していたところに土地家屋調査士事務所の補助者の求人があり、採用されて調査士業界へと入ってきました。

以来補助者勤めをしておりましたが、私的に抱えていた案件から解放されたので一念発起、調査士試験の勉強を始め、合格にこぎつけました。筆記試験で緊張のため2時間半ずっと手が震えていたことは今となれば笑い話ですが、当時は「ちゃんと書けていたのだろうか？」と合格発表までドキドキしていたことが忘れられません。

未熟者ではありますが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



お ばら ゆう た ろ う  
**小 原 祐太朗** (花巻支部)

**事務所**：北上市上江釣子19地割30番地7  
**経 歴**：平成26年 一関工業高等専門学校 卒業  
 平成26年 株式会社一関LIXIL製作所 勤務  
 平成28年 土地家屋調査士小原祐希浩事務所 勤務  
 令和2年 土地家屋調査士試験 合格  
 令和2年 土地家屋調査士 登録

令和2年5月より岩手県土地家屋調査士会に入会しました小原祐太朗と申します。土地家屋調査士という職を知ったきっかけは父が土地家屋調査士をやっており、一関工業高等専門学校在学時にはざっくりとしておりましたがいつか土地家屋調査士をやってみたいと思っておりました。

電気情報工学科にて5年間学んだこともあったためその当時は土地家屋調査士という今まで触れてこなかった測量等の分野よりもまずは学んだことを活かせる職に就くことにしました。株式会社一関LIXIL製作所では主に機械設備の保全や設備投資の業務を行って

おりました。株式会社一関LIXIL製作所で働いている時に改めて土地家屋調査士というものはどういうものなのかを詳しく調べ始め、土地家屋調査士を目指すなら早いうちに資格の勉強をして仕事に携わった方がいいと考え、職場を辞め平成28年に土地家屋調査士事務所補助者として働き始めました。

それから毎年土地家屋調査士の試験を受け令和初の土地家屋調査士試験にて無事合格することができました。補助者として働いた年数も浅くまだ未熟者ではございますが、日々勉強し精進していきたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い致します。



は や の りょう すけ  
**早 野 亮 輔** (沿岸支部)

**事務所**：宮古市崎鉾ヶ崎第9地割21番地21  
**経 歴**：平成17年 岩手県立宮古高等学校 卒業  
 平成17年 海上保安庁 勤務  
 平成18年 岩手県漁業共済組合 勤務  
 平成26年 株式会社ネクスコパトロール東北 勤務  
 平成28年 土地家屋調査士小笠原九二男・小笠原寿男  
 ・岩山勝英合同事務所 勤務  
 令和2年 土地家屋調査士試験 合格  
 令和2年 土地家屋調査士 登録

令和2年4月に岩手県土地家屋調査士会に入会させて頂きました早野亮輔です。出身は宮古市です。震災の関係で家族が建物を建てた時に初めて表示の登記の存在を知り、その後土地家屋調査士という職業を知り、憧れを懐いたことが土地家屋調査士を目指したきっかけです。

小笠原・岩山土地家屋調査士合同事務所では3年半お世話になりました。実務だけでな

く、試験合格まで親身になって教えて頂いたとともに支えて頂いたように感じており、先生方々には感謝しております。私自身まだまだ未熟ではありますが、地元に貢献できる調査士になれるよう、日々、努力をしていく所存でございますので、皆様からのご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。





さ と う り ょ う す け  
佐 藤 亮 介 (花巻支部)

事務所：北上市本通り三丁目2番20号-202

経 歴：平成6年	岩手県立黒沢尻北高等学校	卒業
平成10年	会津大学コンピュータ理工学部	卒業
平成10年	株式会社サイエンティア	勤務
平成30年	株式会社ササキカンパニーリミテド	勤務
平成31年	土地家屋調査士試験	合格
平成31年	株式会社グランプラス	勤務
令和2年	土地家屋調査士	登録

令和2年6月に入会させていただきました、佐藤亮介と申します。北上市出身です。大学卒業後、20年間IT業界で頑張ってきました。仙台に本社のある独立系IT企業で、100人程度の規模でしたので、システム開発、営業、管理職と様々な経験しました。非常に刺激的で、面白く、やりがいのある仕事でしたが、20年経ると、他の仕事もしたいと考えるようになりました。

もともと土業に憧れがあり、また不動産にも関心がありましたので、土地家屋調査士という職業を知ったときはこれだとピンと来ました。会社を辞めて、試験勉強に専念し、測量士補、土地家屋

調査士と合格しました。

これまで情報システムという一見してその価値や複雑さが判り難いモノを対象としてモヤモヤを感じる場面がありましたが、現在は実際に目に見える土地を測量し、難しい資料等を読み解いて境界をハッキリさせる仕事に、責任の重大さと共に非常に面白さを感じています。

まだ業界経験1年3か月ほどですが、先輩方の助言により成長を日々実感しています。さらにギアを上げて邁進していきます。皆様どうぞよろしくお願い致します。



し だ と も ひ ろ  
志 田 有 宏 (沿岸支部)

事務所：大船渡市大船渡市大船渡町字上山4番地1

経 歴：昭和59年	岩手県立盛岡工業高等学校工業化学科	卒業
昭和59年	(株) テイクエンジニアリング	勤務
平成元年	家業従事	
平成20年	(株) コウ	勤務
平成23年	測量設計会社	勤務
平成30年	(株) 千の蔵	勤務
平成31年	土地家屋調査士試験	合格
令和2年	土地家屋調査士	登録

令和2年9月に入会させていただきました志田有宏と申します。

高校卒業後、東京で電気設計関係の仕事についておりましたが、平成元年に実家に戻り父母の経営する会社で務めておりました。しかし平成18年に破綻。つらく苦しい思いばかりでした。子供も幼かったので仕事を探しておりましたが、不況や年齢の関係もあり思うようにはいかずそんな時資格を取ろうと考ました。その時に土地家屋調査士という名前だけは知っていましたが、自分にはムリだと思っておりました。その後測量設計会社や不

動産会社に勤務しながらいくつかの資格を取得した後、土地家屋調査士にチャレンジしてみようと思いつき勉強しました。何度かの挑戦の後合格したときは自分のような学歴もなく中途半端な人間でも頑張ればできるんだと感無量の思いでした。そんなわけで知識や経験もなく開業したため、地元の先輩の先生にご指導を受けながらの日々を送っております。そのような先生方に少しでも近づけるよう業務に励んで参りたいと思っております。皆さまどうぞよろしくお願い致します。





みや はら しゅん  
**宮 原 瞬** (盛岡支部)

**事務所**：盛岡市上堂三丁目2番15号 工藤ビル4階

**経 歴**：平成18年 東北理工専門学校 卒業  
 平成18年 松浦・藤村土地家屋調査士事務所 勤務  
 平成26年 小田島土地家屋調査士事務所（神奈川県）勤務  
 平成28年 土地家屋調査士試験 合格  
 令和2年 土地家屋調査士 登録

令和2年10月より岩手県土地家屋調査士会に入会する事となりました滝沢市出身の宮原瞬と申します。父が土木設計の仕事をしていた事がきっかけで高校在学中に測量の仕事に興味を持ち、高校卒業後は、東北理工専門学校に進学致しました。そこで、土地家屋調査士の講師の方のお話を聞く機会があり、とてもやりがいのある仕事だと思い、資格を取る決意をし、卒業後は松浦先生にお世話になりました。3年間の測量経験を積んだのち東

京の東京法経学院に通い、平成28年に合格に至りました。その後、神奈川県で補助者とし経験を積み、令和2年に岩手県に帰って参りました。令和2年10月に登録をし、日々奮闘中です。業務をするにあたり、日々未熟さを感じており、勉強・経験不足だと痛感しております。努力を怠らず、業務に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



うち ざわ たつ や  
**内 沢 達 也** (盛岡支部)

**事務所**：盛岡市西見前15地割6番地1 A202

**経 歴**：平成20年 岩手県立不来方高等学校 卒業  
 平成20年 岩手県警察官 拝命  
 平成29年 土地家屋調査士安保事務所 勤務  
 令和2年 土地家屋調査士試験 合格  
 令和3年 土地家屋調査士 登録

令和3年1月に岩手会へ入会・登録し、盛岡市で開業した内沢達也です。

土地家屋調査士としての一步を踏み出したばかりですが、岩手会の一員として精一杯やっています。

まずは、私自身の出身などのことですが、出身地は胆沢郡金ヶ崎町です。

どこを見渡しても田んぼが一面に広がる豊かな田舎町で育ち、自然の中で目一杯遊んでいたことを覚えていてます。

そこからは、小学校から続いていたサッカーをする為に、矢巾町にある不来方高校へ進学し、3年間、電車通学したことは良い思い出となっています。

高校卒業後は、親の勧めもあり警察官となりましたが、土地家屋調査士という職業を知り、この世界へ飛び込みました。

平成29年から約3年間は、安保事務所でお世話になりました。測量や登記を一から教えて頂き、この世界の厳しさ、やりがいを経験することが出来ました。

安保事務所での経験がなければ、今の自分はないと思えます。

その傍らで、令和元年度の土地家屋調査士試験を受験し、合格することができまして、令和3年1月に登録・開業となりました。

登録して約1年ですが、まだまだ経験・知識ともに充実させていくことが必要だと日々感じております。

岩手会の一員としての自覚を持ちながら、これからの土地家屋調査士業界を支えていけるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



きく ち けい すけ  
**菊池慶介** (花巻支部)

**事務所**：花巻市石鳥谷町好地第7地割127番地

**経歴**：平成8年 岩手県立黒沢尻工業高等学校卒業

平成8年 秋柴重機株式会社 勤務

平成14年 (有) アート施工 勤務

平成18年 株式会社HMT 勤務

平成23年 ヤンマーアグリジャパン株式会社花巻支店 勤務

平成27年 浅沼土地家屋調査士事務所 勤務

令和3年 土地家屋調査士試験 合格

令和3年 土地家屋調査士 登録

令和3年11月に岩手県土地家屋調査士会に入会いたしました菊池慶介と申します。

盛岡市の浅沼土地家屋調査士事務所（現：あさぬま土地家屋調査士法人）で約6年間お世話になり、この度入会することとなりました。

東日本大震災の年、当時勤めていた会社が倒産し、その時に初めて士業の道を目指し始めました。恥ずかしい話ですが、学生時代は全く机には向かったことが無かったので、当初は仕事と学習の両立が本当に大変だったことを覚えております。

平成27年から浅沼土地家屋調査士事務所でお世話

になり、補助者として色々な実務に携われたことや、業務で多くの方々に関わってこられたことは本当に良い経験であり、財産であると思っております。

開業するにあたり不安な気持ちは多々ありますが、諸先輩の方々からアドバイスを頂いたり、周りの人達からの支えがあり、改めて人と人との繋がり大切さを感じているところです。私自身も人の支えになれるよう又、すこしでも地域社会に貢献できるよう頑張って参りたいと思っております。

未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしく願いいたします。

## 過去10年間の会員の異動状況

会員の数並びに入会者・退会者

年 度	年 月 日	会員数	法人会員	入会者	退会者
平成23年	平成24年3月31日	179名	1法人	6名	7名
平成24年	平成25年3月31日	179名	1法人	6名	6名
平成25年	平成26年3月31日	181名	1法人	5名	3名
平成26年	平成27年3月31日	176名	1法人	5名	10名
平成27年	平成28年3月31日	172名	1法人	2名	6名
平成28年	平成29年3月31日	174名	2法人	5名	3名
平成29年	平成30年3月31日	178名	3法人	6名	2名
平成30年	平成31年3月31日	177名	3法人	4名	5名
平成31年 令和元年	令和2年3月31日	178名	4法人	4名	8名
令和2年	令和3年3月31日	181名	7法人	11名	3名

## 無料登記相談会の報告

川徳定期無料相談会	件数	内容
令和3年1月20日	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相続登記について</li> <li>・土地の贈与について</li> </ul>
令和3年2月17日	6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の分筆登記から共有物分割の手続きの流れについて</li> <li>・建物滅失について</li> <li>・住所変更について</li> <li>・法務局備付資料以外の境界に関する資料について</li> <li>・建築基準法と建物表題登記について</li> <li>・土地売買の際の権利証の紛失について</li> </ul>
令和3年3月17日	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借地権について</li> </ul>
令和3年4月21日	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接者から杭を抜いてほしいと依頼があった場合の対応</li> <li>・共有地を分割したいがどのような形にすればいいか</li> <li>・親の土地でどこにあるかわからない場所の特定</li> </ul>
令和3年5月19日	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区分建物の2階を取り壊した際の固定資産と登記について</li> </ul>
令和3年6月15日	7件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣地との境界トラブル</li> <li>・元地主とのトラブル</li> <li>・滅失登記について</li> <li>・表題登記について</li> <li>・境界杭を納得いかない場所に埋められた</li> <li>・自分で作成した建物図面を見てほしい</li> </ul>
令和3年7月21日	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・越境物と境界について</li> <li>・隣地に侵入した木の処理</li> </ul>
令和3年8月18日	4件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣地との境界を明確にしたい</li> <li>・土地の一部を売却したい</li> <li>・調査士に依頼して測量したが隣地から境界が違うと言われた</li> <li>・分筆してもらったが資料が何も無い</li> </ul>
令和3年9月15日	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地目変更の費用について</li> <li>・不動産業者から売ってほしいと手紙が来た後の対応について</li> </ul>
令和3年10月20日	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物滅失について（相続人全員の同意が必要か）</li> <li>・昭和31年の協議書（通行するための）は有効か</li> </ul>
令和3年11月17日	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区分建物の2階を取り壊した際の登記について</li> <li>・課税されている私有地道路について</li> </ul>

\*会に報告が寄せられたもののみ。

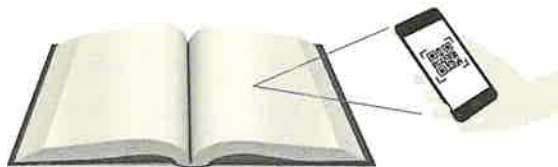
# 全国一斉不動産表示登記無料相談会の開催報告について

- 1 開催場所数 6か所（電話相談 有 ）（ウェブ相談 無）
  - 2 相談件数（総数） 28件（面談 8件 電話相談 20件 ウェブ 0件 その他 0件）
  - 3 主な相談内容
    - ・ 自宅敷地の境界不明についての相談
    - ・ 国土調査の修正が可能かの相談
    - ・ 未登記建物の相続について
    - ・ 相続した土地の境界の不明について
    - ・ 公図にない地番について
    - ・ 境界杭の位置について
    - ・ 未登記建物の表題登記について
    - ・ 所有権移転、地図訂正、境界復元、建物登記等の費用について
    - ・ 自己所有地の他人名義の建物について
    - ・ 公民館（官公署管理）の越境について
    - ・ 区分建物の登記について
    - ・ 売買、セットバック、相続等の相談
  - 4 主な実施した相談会開催にかかるPR活動について
    - ・ ラジオ出演
    - ・ ラジオCM
    - ・ 折り込みチラシ
    - ・ 新聞広告
    - ・ 会HP掲載
    - ・ 市役所等官公署へ案内とチラシ配布
    - ・ 各事務所ポスター掲示
- ※検証結果 チラシ12件、ラジオ等の広報活動8件、新聞7件、HP 1件
- 5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大への影響を考慮した取組について
    - ・ 会場を設け検温や消毒液の準備等感染対策を実施（1ヵ所）相談件数8件
    - ・ 会場を設けず電話での対応（5ヵ所）相談件数20件

 <p>土地家屋調査士</p>	<p>地識くんいわて 地識くんいわて</p>		<p>発行所 岩手県土地家屋調査士会 盛岡市中野1丁目20番33号 TEL 019-622-1276 FAX 019-622-1281</p> <p>担当：広報部</p>
--	----------------------------	--	---

## 登記制度創造プロジェクト 岩手会の取組み紹介

土地家屋調査士制度制定70周年記念事業の一つとして、全国50の単位会が連携し、登記制度創造プロジェクトが行われ、岩手会では「2030登記情報(表題部)『岩手モデル』」の考案及び関連した制度広報について取組みました。詳細は70周年記念誌に掲載されております。是非ご覧ください。また、記念誌掲載の成果モデルのQRコードはお手持ちのカメラ付きスマートフォンで読み取れます。皆さん一度お試しください。



※QRコードは、記念誌縦横どちらでも読み取れます



スマートフォン対応本会トップページ



アンケートチラシ

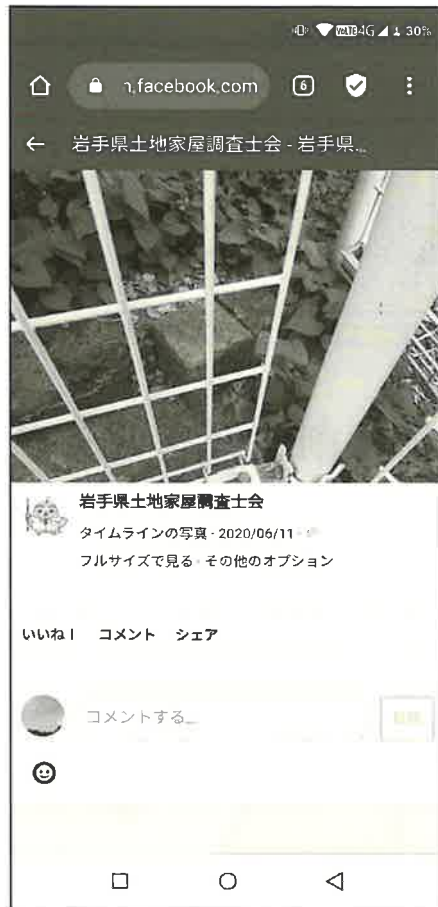


中野エリア周辺ハザードマップ

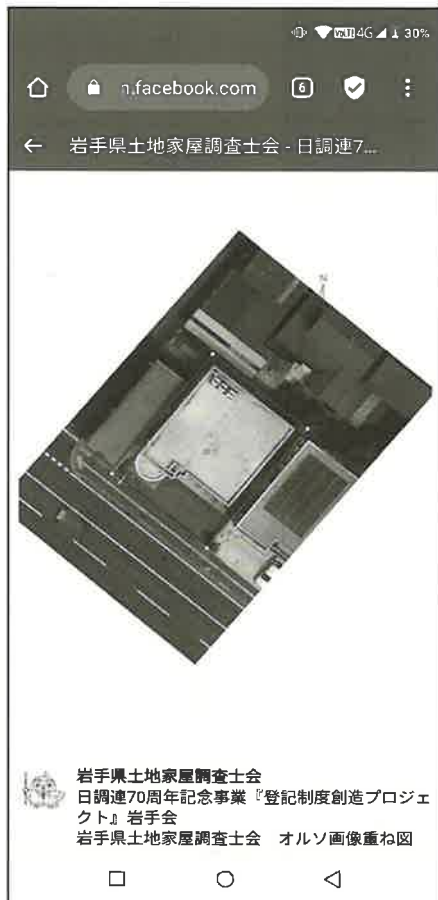




調査士会館 3Dモデル(指で操作できます)



調査士会館 境界標の写真





調査士会館オルソ画像重ね図

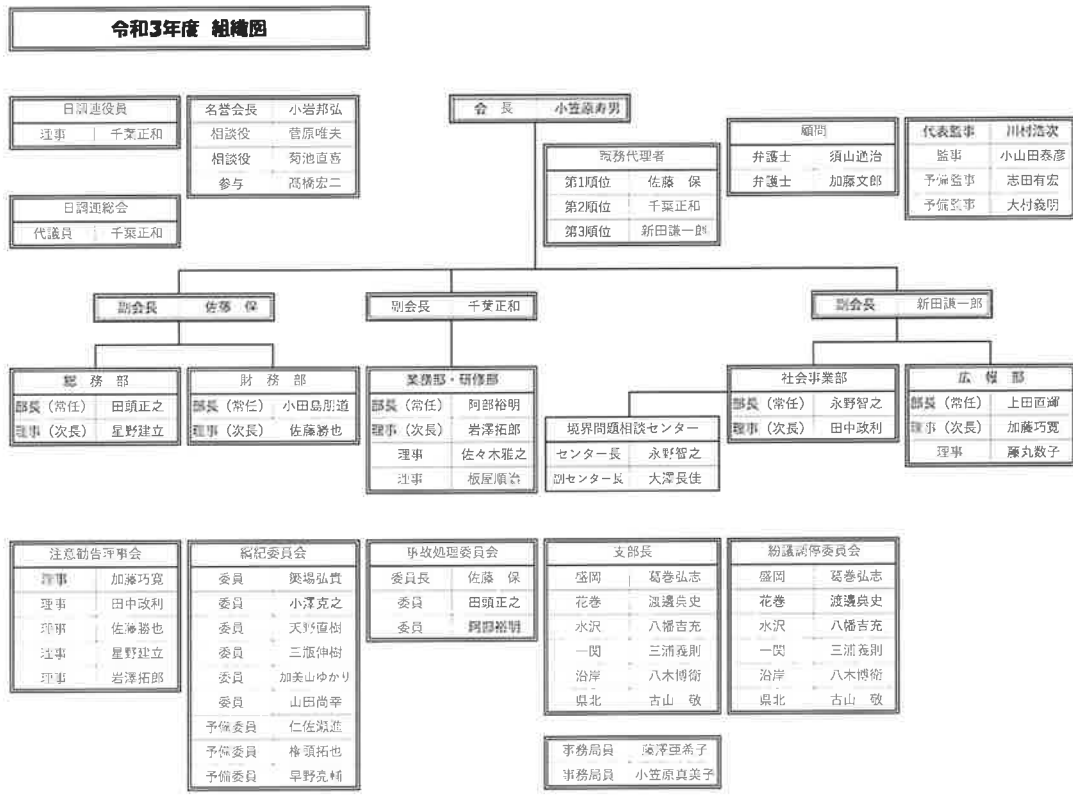


『岩手モデル』情報フォルダ



 <p>土地家屋調査士</p>	<h1>地識くんいわて</h1>		<p>発行所 岩手県土地家屋調査士会 盛岡市中野1丁目20番33号 TEL 019-622-1276 FAX 019-622-1281</p> <p>担当：広報部</p>
--	------------------	--	---

## 令和3年度 岩手県土地家屋調査士会の組織が決定しました。



※東北ブロック総会開催により全ての役職が決まりましたら再度お知らせいたします。

会員の皆様二年間よろしくお願ひいたします。




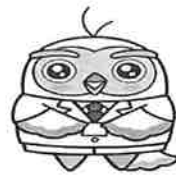
## 令和3年度全国一斉不動産表示登記無料相談会開催一覧

土地家屋調査士の日に伴う相談会等の各支部の予定をお知らせ致します。

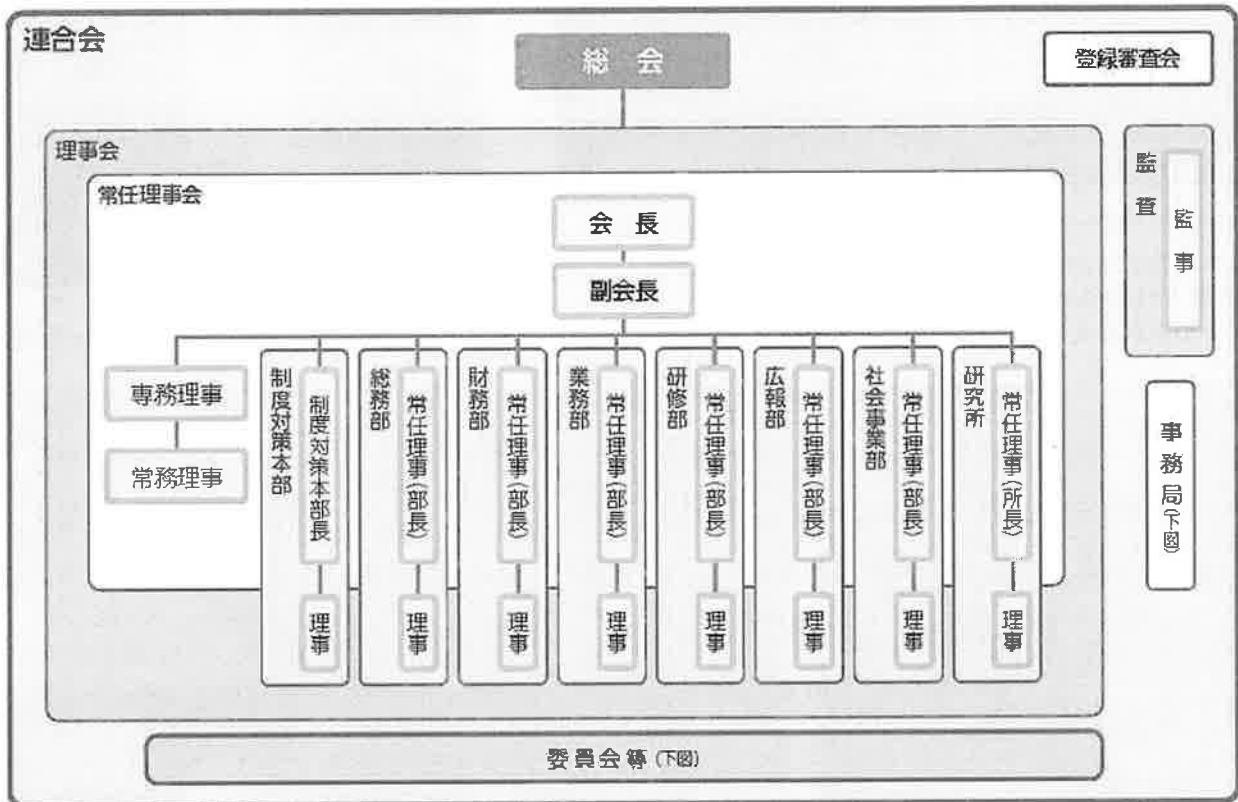
支部名	開催日	受付時間	開催方法	受付電話番号、メールアドレスなど	予定している宣伝活動
盛岡支部	7月31日	9:00 ~ 17:00	電話対応	各会員事務所 (東館努、浅沼徹哉で予約受付)	新聞折り込みチラシ
花巻支部	7月30日	10:00 ~ 17:00	電話・メール対応	各会員事務所	ポスターの掲示
水沢支部	7月30日	10:00 ~ 17:00	電話対応	各会員事務所	・広報おうしゅう、広報かねがさきに掲載→支部広報担当の電話番号を問い合わせ先として事前予約受付予定。 ・胆江日日新聞に掲載→開催告知と全支部会員の氏名、事務所所在地、電話番号を掲載予定。 ・各会員事務所へポスターの掲示依頼。
一関支部	7月30日	10:00 ~ 15:00	無料相談会	各会員事務所(予約優先)	地元紙「岩手日日」新聞社に広告掲載
沿岸支部	7月31日	10:00 ~ 17:00	電話もしくは対面	各会員事務所	特になし
県北支部	7月31日	10:00 ~ 15:00	無料相談会	久慈市会場、二戸市会場	近隣市町村広報に掲載、新聞折り込み(二戸・久慈地区)を予定



(平成30年7月29日・プラザおでって・調査士の日)

 <p>土地家屋調査士</p>	<p>地識くんいわて 地識くんいわて</p>		<p>発行所 岩手県土地家屋調査士会 盛岡市中野1丁目20番33号 TEL 019-622-1276 FAX 019-622-1281</p> <p>担当：広報部</p>
--	----------------------------	--	---

令和3年度 日本土地家屋調査士会連合会の組織が決定しました。



会長 岡田潤一郎 (愛媛会)

副会長 柳澤 尚幸 (群馬会) 野中和香成 (福岡会) 鈴木 泰介 (千葉会) 鈴木 貴志 (神奈川県)

理事

山崎 勇二 (福井会) 大久保秀朋 (香川会) 今瀬 勉 (岐阜会) 山本 憲一 (東京会) 市川 栄二 (神奈川県) 高橋 正典 (茨城会) 東野 勝一 (栃木会) 古田 潤 (静岡会) 小比賀 敦 (山梨会) 久保 智則 (長野会) 東 良憲 (奈良会) 北村 秀実 (滋賀会) 中山 敬一 (兵庫会) 水野 晃子 (愛知会) 濱田 眞行 (三重会) 高倉 健 (富山会) 川西 昌彦 (広島会) 花岡 真 (鳥取会) 鮫島 清 (福岡会) 松本 忠寿 (長崎会) 城戸崎 修 (大分会) 菅原 淳 (山形会) 千葉 正和 (岩手会) 浅野 裕士 (札幌会) 松田 整 (釧路会) 西岡 健司 (徳島会) 徳永 哲 (愛媛会) 権田 光洋 (学識経験者) 塚原 敏充

監事 野城 宏 (東京会) 吉田 末春 (熊本会) 久保 直生 (学識経験者)

令和3年度 東北ブロック協議会定時総会が行われました。



令和3年7月7日ホテルメトロポリタン盛岡（盛岡市）にて「日本土地家屋調査士会連合会東北ブロック協議会第66回定時総会」が行われました。

写真：小岩副会長による昨年度の御礼と開会の挨拶



写真：岩手会永野社会事業部部長による司会



写真：新田監事による監査報告



写真：御来賓として、日本土地家屋調査士会連合会岡田会長に御臨席賜りました。



さんのへ やすひと  
三戸 靖史 (青森県土地家屋調査士会)

(抱負) 「Strength In Numbers」数の力(NBAチームのスローガン)。単会の活動に置換えて意識すれば、会員個々又は役員個々の力を併せれば会全体として最大限の力を発揮することができるということ。会長としては青森会会員のため個々の力を集結させて、会全体の発展を目指します。

(趣味) 休日の午前はゴルフ、午後は庭の草むしり

(座右の銘) 人間到处有青山(どんな場所でも与えられたところでは必死にやります！の意)



おがさわら ひさお  
小笠原 寿男 (岩手県土地家屋調査士会)

(抱 負) 今より更に国民から必要とされる土地家屋調査士を会員の皆様と目指していきます。

(趣 味) 楽しいゴルフ

(座右の銘) 浅い川も深く渡れ



ふるかわ かつみ  
古川 克巳 (秋田県土地家屋調査士会)

(抱 負) 財政の健全化、土地家屋調査士の資格維持のためにできることを少しでも

(趣 味) 旅行(ジオパーク巡り)、アマチュア無線など

(座右の銘) 聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥

(そ の 他) 最後の2年間、頑張ります。皆さんよろしくお願ひします。



まつだ じゅんいち  
松田 淳一 (宮城県土地家屋調査士会)

(抱 負) いつも笑顔で集える組織をめざします。

(趣 味) ガーデニング

(座右の銘) 報恩謝徳



おの であら まさのり  
小野寺 正教 (福島県土地家屋調査士会)

(抱 負) 研修を充実しつつ、「土地家屋調査士」の社会的ステータスの向上を目指す。

(趣 味) ゴルフ、野球、音楽鑑賞

(座右の銘) 鶏口となるも牛後となるなかれ



こんの しげる  
今野 繁 (山形県土地家屋調査士会)

(抱 負) 会員の皆様の意見を尊重し、開かれた会務運営を目指します。

(趣 味) サッカー観戦、家庭菜園

(座右の銘) 見る前に飛べ

## 同日、東北ブロック協議会意見交換会が行われました。





【出席者名簿】

所属会	役職	氏名	ふりがな	備考
宮城会	総務部長	山市 恭弘	やまいち たかひろ	
福島会	副会長	上井 將照	どい まきてる	
山形会	副会長	岩井 和彦	いっぺい かずひこ	
秋田会	副会長	根本 聡	ねもと さとし	
青森会	副会長	小笠原 陽	おがさわら あきら	
	業務・研修部長	平尾 健吾	ひらお けんご	
	社会事業部長	堀内 圭	ほりうち けい	
岩手会	総務部長	山頭 正之	やんどう まさゆき	
	広報部長	上田 直輝	うえだ なおき	座長
	財務部長	小田島 朋道	こだしま ともみち	

テーマ「アフターコロナの会務運営 コロナウイルスへの対応で見た課題・問題点・将来」  
※意見交換会の内容は、年末発行 黎明 86 号にて報告いたします。



 土地家屋調査士	地識くんいわて 地識くんいわて		発行所 岩手県土地家屋調査士会 盛岡市中野1丁目20番33号 TEL 019-622-1276 FAX 019-622-1281  担当：広報部
--	--------------------	--	--

## 小冊子『マンガでわかる土地家屋調査士のしごと』寄贈の様子

令和3年10月14日(有)東日本建設工業より土木工事や建築工事に携わる社員へ向けた研修の一環として活用したいと本会に問い合わせをいただき、日本土地家屋調査士会連合会より岩手会で60部購入し、土地家屋調査士制度啓発の一環として30部寄贈致しました。こちらの企業では、ブロック壁の設置や宅地造成といった工事の際に、境界に対する知識がないとトラブルの原因にも成りかねない等の問題を解決するために、年に数回社員教育の一環として研修会を開催しているようです。本会HPより誰でもPDFでダウンロードが可能です。が、(有)東日本建設工業様では研修後も冊子として常時、社員一人一人に携帯して頂いております。



(有)東日本建設工業佐藤雄社長に手渡す新田謙一郎副会長



## 小冊子「マンガでわかる土地家屋調査士成長物語」の寄贈の様子



令和3年11月8日、日本土地家屋調査士連合会が発刊する小冊子「マンガでわかる土地家屋調査士成長物語」を岩手会で500部発注し、土地家屋調査士という資格を知ってもらいたい、未来の土地家屋調査士を目指す若者になって頂きたいという思いで、小笠原会長の母校盛岡工業高校土木部（生徒1年37名、2年40名、3年25名 計102名全員）に寄贈させて頂きました。寄贈セレモニーでは、盛岡工業高校佐々木光男校長先生より、「子供たちの未来の可能性が膨らむ教材を頂戴し感謝申し上げます。」と述べられ、小笠原会長からも「進学や就職を目指す子供たちに、岩手県で活躍する土地家屋調査士はたくさん居ります。是非、土地家屋調査士を目指して頑張ってください。」とエールを送りました。寄贈後、土木部代表の生徒からは、「これから頂いた教材を読むのが楽しみです。土地家屋調査士という仕事を知り、未来の選択肢にできるように頑張ります。」と力強い挨拶を頂戴しました。





 <p>土地家屋調査士</p>	<p>地識くんいわて</p> <p>地識くんいわて</p>		<p>発行所 岩手県土地家屋調査士会 盛岡市中野1丁目20番33号 TEL 019-622-1276 FAX 019-622-1281</p> <p>担当：広報部</p>
--	-------------------------------	--	---

## 第10回ツール・ド・三陸

### ～サイクリングチャレンジ2021～inりくぜんたかた・おおふなと

10月31日に開催された第10回ツール・ド・三陸～サイクリングチャレンジ2021～inりくぜんたかた・おおふなとに、盛岡支部の築場弘貴会員、田中政利会員が土地家屋調査士制度広報シャージを纏い参加しました。

ツール・ド・三陸は震災後に復興を祈念して開催され、去年はコロナ禍の影響で中止され1年ぶりの開催となります。

会員2名は剛脚もののけ・大船渡・フルコースという走行距離81.4km、獲得標高1,617m、今大会最長コースにエントリーし、7時20分昨年8月に竣工した高田松原運動公園野球場から（これから待ち受ける苦行を知らずに）満面の笑みでスタートして行きました。



#### 以下、築場回想

はじめに、自分にとってはこのツール・ド・三陸は50歳台をとうに過ぎ、体力低下の状況を推し量る意味合いでの最長、標高獲得コースへのエントリーであります。田中会員と共に土地家屋調査士制度広報シャージを纏い、『勝手に制度広報』ライドが目的なので随分と気分が軽い状況で当日の朝を迎えました。しかしながら完璧なまでの練習不足は否めないなので、今回はトレーニングを兼ねたライドと割り切ろうと思います。

受付を済ませ渡されたゼッケンビブには「岩手県土地家屋調査士会 足がつりませんように！」とメッセージを書きました。（白状すると願いはかなわなかった…）

今回は、コロナ対策として抗体検査を受け付で行い、採取キットに手間取りながらも陰性と出たので安堵で胸をなでおろしたのは言うまでもありません。

準備をあわただしく済ませ、今朝は本会の藤丸広報担当理事と盛岡支部の浅沼広報部副支部長が応援しに来てくれました。藤丸理事は娘さんとめんこい孫ちゃんを連れての応援で感謝です。浅沼副支部長は田中会員と気仙沼に前泊し夜を楽しんだ影響か目が…。

寒空の下の開会式直ぐに我々は招集され、スタートは数グループを任



意で編成し、我々は第3グループで凡そ10名ほどで和やかにスタートをしました。



スタートして第1エイドステーション(矢作町)への行程は軽く到達のはずでしたが、以前からのコースの一部が変更になり、宅地造成した急坂の登坂が待ち構えていることを走り始めて気がつきました。まだ体力的に全然余裕があるので集団でクリアしたものの、早くもここで完全なトレーニング不足を痛感します。

思いのほか踏めないのですが、心臓的には余裕なので、後悔はまだしていません。

エイドステーションとは軽い飲食ができる休憩場所で、コース中の4箇所のエイドステーションは大変助かったのです。(レースとはここが違います。)朝早くから準備をしていただいたボランティアの方々には本当毎回頭が下がる思いです。

矢作町のエイドステーションで補給し出発すると、北に向かいつつ、いよいよもののけコースの本領である氷上山(ひかみさん)への登坂(距離6,500m 平均斜度11.7% 最大斜度17.3%)に竹駒神社のわ

きから入ります。

前回参加したときの印象は、斜度はそこそこキツイのですが、軽めのギアでクルクルとまわしながら余裕で登れたので辛くはなかった…はずが、よもやのインナーローギア(いちばん軽いギア)でもペダルが超重くて頭の中には!?!?!がいっぱい浮かんでくる。

意地でも絶対自転車を降りないぞ!と心に誓い、喘ぎ蛇行しながら集団のはるか後方で展望台のあるひらけた場所まで到着しました。(大汗)

そこは、広田湾を一望できるビューポイントで乳酸のたまった足を引き摺りながらも、お約束の写真撮影(顔は当然作り笑顔)。ここまで体の重さにガックシしたものの、まだ後悔はしていません。



ビューポイントにて記念撮影



さあ、ここからは大船渡へ向かって約10kmに渡るダウンヒルなのですが、集団走行なので安全な速度で下っていきます。(辛い登りのあとは楽しい下りがヒルクライムの醍醐味なので若干欲求不満のみ)

幾重のカーブをやり過ぎて下りきったら、国道に出て三陸道を横に見ながら、BRTの踏切を越える結構な坂(これが曲者だった)を下り大船渡市街へ入り、第2エイドステーションの夢海公園で小休止です。ここでも地元の銘菓や軽食を遠慮なくいただき、中でもめかぶスープがやけに体に滲みましたね。(ヒルクライムの大汗で塩分放出した故か)

田中会員と談笑(辛酸を堪能)しながら長めの休憩後エイドステーションを後に元来た道に戻ります。しかしここで曲者が待ち構えていました。先程のBRTの踏切を越える際にペダルに荷重をかけた瞬間、両足腿の大腿四頭筋を攣り、瞬時に足を固定しているビンディングペダルを外して自転車からおりたので、コケなくてよかった!なのですが、近隣の住民の方々の間近で応援してくれている中、自転車を押して坂を登るのはある意味非常に注目を浴びているわけで、ガンバレの温かい声援は私の心を冷酷にえぐるのです。

ここは涙目模様で人目を憚る場所でストレッチをしてなんとか走れる状態にし、(田中会員に待ってもらい申し訳ない!)ここからは次の碁石海岸エイドステーションに向けて海沿いを走っていきます。しかしまた攀るのではと内心冷や冷やものでした。

海岸線に沿って適度なアップダウンを繰り返しながら、ここでも沿道や家から声援をうけます。自ずと笑顔で手を振り返しつつ、ほどなくして第3エイドステーション名勝碁石海岸のレストハウスへ到着でやんす。ここでの密かな楽しみは数種類のおやきを頬張ることなのです。これがまた適度な塩気もあり旨さこの上ない、正にサイクリスト元気注入フードとも言えるのではないかなあ。本当は碁石海岸まで散策して写真の一枚でも撮りたかったのですが、この先のことを考えて足のマッサージに集中しました。

さてここまで50km走破…ですが、実はここからがMっ気にはたまらなくなるわけで…  
コースは過去数度走っているの分かっています。これから広田半島を周るとそれはそれは、これでもかというほどアップダウンを味わうことができます。

ここまでの自分の脚の状態を顧みると、内心途中でギブ(乳酸マックスで両脚オールアウト)も懸念されるのですが、今回は調査士制度広報ジャージを纏っているの、意地でも完走することは我々の『職責』であると自らに言い聞かせてハンドルを掴むのでした。

ちなみにここからはグループの人数がグループリーダー(先導)を含めて5人でゴールまで進むこととなります。

次のエイドステーション広田漁港まではアップダウンをしながらも左手に太平洋を望みながら進むので、心に幾ばくかの余裕が生まれます。それでも登坂は容赦がないわけで、また民家もあり応援している住民の方々の声が後押ししてくれるのを今回特に実感しました。

潮の香りが強く感じられるようになり、第4エイドステーションの広田漁港に到着。  
ここでは牡蠣飯に蒸し牡蠣が用意されていて、お昼時ということもあり有無を言わず貪りました。ふと横を見ると田中会員にも若干の疲れ(前日夜の浅沼さんとのナイトミーティングの影響か)が見られたようでした。

さあ、ここまで64km走破で残り16.5km程度でなんとなくホッとしたような気でいたのは一瞬で、まだまだアップダウンは続くのです。

小友へ向かう途中で、毎度毎度独特の応援をしてくれる素敵なマダムご一行(テレビの常連)から『休んでってー』の声に乗じて小休止です。そうしたらマダムのお一人から『あなたたち調査士のヒト?』とジャージを見ながら声をかけられました。聞くと旦那様が司法書士だったとのこと。『大船渡のKさんは立派な方だね、間違いのない仕事をするのよ〜』と大先輩の仕事ぶりをよもやここで聞けるとは思いもせず、頑張っねーと励まされながら歩を進めます。

小友の付近に入ると、震災から1か月後に登記基準点の被災状況の調査に入った際の惨状を思い出します。10年の歳月とマンパワーによる復興を目の当たりにしながら毎回通るたびにその変化に感慨する場所です。



さあいよいよ国道に出てゴールを目指しながら、地味な上り坂を進んでいくと、お菓子屋さんの応援と『お茶してってください!』と子どもさんからお声がかかったのでグループリーダーが休んでいきましょーと声をかけて小休止。各エイドステーションでも提供された椿茶はほんのり甘くて心癒されるお味です。地元のお菓子のことをいろいろ聞きながら財布を持ってきていないことにちょっと罪悪感を抱きつつゴールに向かって海岸沿いを進みます。

平坦路に安堵しつつ程なくして、道の駅高田松原に到着しました。実はこの時点でゴール予定を大幅にオーバーしてましたが、サービス精神が溢れ出ているグループリーダーの奇跡の一本松まで行きましょー!の提案で歩きながら復興のシンボル向かいます。一本松の袂ではスタッフの皆さんが待機しており、お約束の写真撮影を行い、堤防上の献花台で黙とうを捧げ静かに階段を降りていきました…が、ここでもよやの大腿四頭筋を攀るとは!最後まで油断大敵です。

再度、自転車にまたがりいよいよ14時40分高田松原運動公園野球場へゴールです。なんと一番最終のグループでした(笑)。一本松に行っている間に、後発のグループに越されていたみたいです。



そしてゴールには、本会上田広報部長ご夫妻、浅沼副支部長が待っていてくれました。大幅に到着予定時間が過ぎてしまったことを詫びて、皆さんと自転車談義を行い、最後に今回のことを記事に書いてくださいね！と念を押されて、この寄稿となっております。長々と回想を書き記してきましたが、本来の自転車のイベントの楽しさを伝えたかった！のに、今回はそれには能わずのサイクリング紀行とってしまいました。反省すべきは自分自身4月の後半にドクターストップで運動ができなくなり、回復後参加予定であった7月の『きたかみ夏油高原ヒルクライム』が中止になったり、さらに夏以降業務が多忙になったことも含めてバイクライドがほとんどできずに臨んだ結果であると素直

に認めなければなりません。来年は時間を見つけてトレーニングを積み、アラカンに抗うようバイクライドを楽しみながら勝手に制度広報を続けていく所存であります！（もちろん田中会員もみちづれに！）



【 サイクリングに興味をお持ちの方、これから始めてみたい方へ 】

ツール・ド・三陸にはレベルに合わせた次のコースが用意されています。

サイクリングに興味のある方は是非一緒に三陸の景色を楽しみながら走りましょう！

◎剛脚もののけ・大船渡・フルコース ヒルクライム上級者限定 81.4km 獲得標高：1,617m



◎健脚マウンテン・大船渡・フルコース 中・上級者向け 62.4km 獲得標高 1,156m

◎健脚 Basic コース 初・中級者向け 44.7km 獲得標高 793m

◎ファミリーコース 16.8km 獲得標高 165m

<http://www.tour-de-sanriku.com/information/course.html>



 <p>土地家屋調査士</p>	<p>地識くんいわて</p> <p>地識くんいわて</p>		<p>発行所 岩手県土地家屋調査士会 盛岡市中野1丁目20番33号 TEL 019-622-1276 FAX 019-622-1281</p> <p>担当：広報部</p>
--	-------------------------------	--	---

桐の華ゴルフでは調査士会員やその家族、司法書士との親睦を深めるためゴルフシーズンに月1回のペースでコンペを行っております。

第1回 令和3年4月3日土曜日 江刺カントリー倶楽部

参加者 1組 小野寺清一、田頭正之、田頭貴子  
2組 高橋悦彌、佐藤強、工藤清見  
3組 丸山芳広、葛巻弘志、千葉博幸  
合計9名 優勝 高橋悦彌



第2回 令和3年4月24日土曜日 盛岡南ゴルフ倶楽部

参加者 1組 葛巻弘志、田頭正之、田頭貴子  
2組 高橋悦彌、工藤清見、佐藤保  
3組 丸山芳広、小笠原寿男、大川仁宏  
合計9名 優勝 小笠原寿男

第3回 令和3年5月22日土曜日 盛岡ハイランドカントリークラブ

参加者 1組 山崎功、小笠原寿男、田頭正之、田頭貴子  
2組 高橋悦彌、豊岡勝、工藤清見、小田嶋達浩  
3組 丸山芳広、佐藤保、葛巻弘志、大川仁宏 合計12名 優勝 田頭貴子

第4回 令和3年6月26日土曜日 ローズランドカントリークラブ

参加者 1組 高橋悦彌、工藤清見、田頭正之、田頭貴子  
2組 豊岡勝、佐藤保、小笠原寿男、大川仁宏  
3組 葛巻弘志、佐藤勝也、小田嶋達浩 合計11名 優勝 田頭貴子(連覇)

第5回 令和3年7月24日土曜日 みちのく古都カントリークラブ

参加者 1組 丸山芳広、田頭正之、千葉博幸、田頭貴子  
2組 高橋悦彌、工藤清見、山崎功、小笠原寿男  
3組 小野寺清一、佐藤保、葛巻弘志、三浦秋弘 合計12名 優勝 小田嶋達浩

第6回 令和3年8月28日土曜日 南部富士カントリークラブ

参加者 1組 高橋悦彌、工藤清見、葛巻弘志、佐藤吉和  
2組 川村浩次、田頭正之、田頭貴子  
3組 佐藤保、小笠原寿男、小田嶋達浩 合計10名 優勝 工藤清見

第7回 令和3年9月25日土曜日、岩手ゴルフ倶楽部

参加者 1組 田中堯史、田頭正之、浅沼智之、田頭貴子  
2組 高橋悦彌、葛巻弘志、渡邊典史、大川仁宏  
3組 丸山芳広、佐藤保、佐藤吉和  
4組 小原祐希浩、小笠原寿男、小田嶋達浩、藤原聖子 合計15名  
優勝 小笠原寿男

第8回 令和3年10月23日土曜日、江刺カントリー倶楽部  
参加者 1組 高橋悦彌、田頭正之、千葉博幸、田頭朋実  
2組 丸山芳広、葛巻弘志、田頭貴子  
3組 小野寺清一、佐藤保、渡邊典史  
4組 工藤清見、上田直輝、小田嶋達浩 合計13名

優勝 工藤清見

敬称略



令和3年は盛岡近郊・県南のゴルフ場を交互に8回開催しました。  
ゴルフ談義や日頃の業務での相談など和気あいあいとした中で楽しんでおります。  
今年参加できなかった方、ゴルフに興味のある方、是非ご参加くださるようお願い申し上げます。

代表幹事 葛巻弘志

初めて参加した方の声

上田直輝

昨年ゴルフクラブを購入しコースデビューしましたが、スコア128打のほろ苦いデビューでした。今シーズンこそは上手になりたいと思い、練習場やコースに行くようになりました。しかし、現実には厳しくスコアが一向に伸びず悩んでおりました。そんな中、フランクで楽しいからとお誘いを頂き、桐の華コンペへ参加してみました。ゴルフの技術的な話はもちろんですが、仕事の相談や笑い話など、ゴルフ以外でも楽しくラウンド出来ました。今年度は、コロナ禍ということもあり会長杯親睦ゴルフ大会はありませんでしたが、このような機会は、ゴルフの上達だけでなく調査士経験を積んだ先生方とのコミュニケーションを取れる素敵な場であることを感じました。来年度は、年間を通したこの桐の華ゴルフコンペに参加したいと思います。毎回準備頂いております表彰式の景品にも感動しました。



## — 編集後記 —

初めて広報部長を経験した2021年となりました。前千葉博幸部長に何度も電話し、わからない事は聞きまくりました。川徳の定期無料相談の調整からはじまり、7月の土地家屋調査士の日にはPR部隊としてラジオに出演させて頂きました。また、盛岡の高校へ出向き冊子を寄贈したり、10月の法の日には無料相談を実施しました。そんな中で市民の方々に土地家屋調査士の専門用語や業務内容を伝える難しさを感じました。土地家屋調査士倫理綱領の使命に「不動産に係る権利の明確化を期し国民の信頼に答える」とあります。広報部として、まず土地家屋調査士という名前を多くの市民に知ってもらう事、若者に土地家屋調査士という資格に魅力を感じて頂く事、こういった一年一年の積み重ねが国家資格を維持し、国民から必要とされる組織に繋がると考えます。2022年は、過去の経験を学びながら進化を遂げる広報部を目指します。新たな試みを取り入れ、楽しく且、情熱的に広報活動を進めてまいります。

上 田 直 輝

編集後記を書いています時点においては新型コロナウイルスの感染の状況は岩手県はもとより国内全域においてもある程度感染拡大を抑えられている状況だと思えます。会員の皆様もコロナ禍には大変なご苦労と我慢をされていたと存じます。この感染が抑えられている隙に先日、花巻の温泉宿にお邪魔させていただきました。2年以上ぶりの温泉と美味しい豪華な食事に身も心もリフレッシュしました。私の子供たちもよほど楽しかったのか温泉宿のCMが流れると「ここいった事ある!」「また行きたいね!」と申しており、地元の魅力を再確認しコロナ禍で長らく忘れていたレジャーの大切さを思い出しました。このまま新型コロナウイルスの感染が収束していく事を願ってやまない今日この頃です。

加 藤 巧 寛

今年度から広報部員として活動してまいりました。取材等ご協力いただいたみなさまには感謝の気持ちでおります。ありがとうございました。

また、広報部員としていろいろ足りていない私ですが、教えてもらったり手伝ってもらったりしながら、なんとかここまできました。ありがとうございました。

みなさま今後ともよろしく願いいたします。

藤 丸 数 子

発 行 岩手県土地家屋調査士会

盛岡市中野一丁目20番33号

TEL (019) 622-1276

FAX (019) 622-1281

広報部員

上 田 直 輝 加 藤 巧 寛 藤 丸 数 子

# 表示登記申請システム

オプション

## CADシステム

オプション

## 請求・入金システム 土地家屋調査士版

2021年11月～  
提供の新機能!

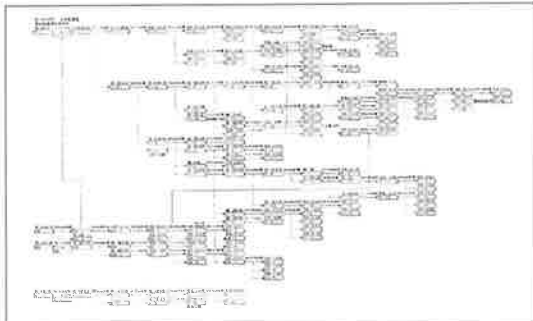
土地沿革図作成機能を追加!

筆界特定申請書作成機能を追加!

NEW

### 土地沿革図

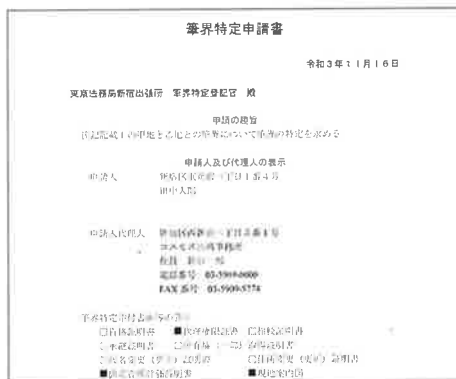
取得した登記情報をもとに土地の沿革図（分筆や合筆によって変更された情報）を作成します。閉鎖した情報（書面の登記情報）を追加する場合にも入力補助を用意しているので、迷うことなく入力、簡単に作成できます。



NEW

### 筆界特定申請書作成機能

登記情報のデータを利用して筆界特定申請書を作成できます。手数料仮納付額の計算やひな形の文章も登録することができます。



BEST

### スーパー登記情報

絶賛のお声が続々！不動産登記情報を自動で解析・データ化する大好評機能です。所有者持分も瞬時に自動作成、Excelへ出力可能！ [スーパー登記情報](#) [検索](#)

NEW

### 請求・入金システム土地家屋調査士版

マネーフォワード クラウドの仕訳帳インポートに対応しました！クラウド会計ソフト free への対応も現在準備中です！

※マネーフォワードクラウド・freeは別売りです。記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

タイプA		タイプB		タイプC		タイプD		タイプE	
表示登記 + CAD + 請求入金 申請システム + システム + 決済処理システム		表示登記 + CAD 申請システム + システム		表示登記申請システム		表示登記 + 請求入金 申請システム + 決済処理システム		請求入金 決済処理システム	
一括購入	5年リース	一括購入	5年リース	一括購入	5年リース	一括購入	5年リース	一括購入	
¥458,000	月額¥8,400	¥398,000	月額¥7,300	¥218,000	月額¥4,100	¥278,000	月額¥5,200	¥60,000	

表記はすべてスタンドアロン版の価格です。ネットワーク版をご希望の場合は別途お問い合わせください。全て税抜き価格となります。

株式会社ビービーシー  
www.bbcinc.co.jp [ビービーシー](#) [検索](#)

TEL. 03-5909-5772  
東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 6階

東京  
本社

大阪

名古屋

福岡

札幌

仙台

高松

広島

# 測量機器メンテナンス・サポート



各メーカーの測量機器全般（トータルステーション・レベル・セオドライト等）への修理・校正・メンテナンス対応を提供させていただきます。現在の測量機器はデジタル化が進み修理が複雑になってきており、特殊技術が必要な為、検査は「迅速・技術・丁寧」をモットーに力を注いで行っております。校正に関しましては確実な品質（校正完了品）の提供を一番に、チェック体制を整えております。



測量機は精密機械です。日頃の点検・整備が必要です。  
メンテナンス・校正は、日本測量機器工業会認定の  
当社へお任せください。



測量機器・システムの販売からレンタル、メンテナンス、校正まで

**ISK** 株式会社 **岩手測器社**

TEL:019-613-2387 / FAX:019-613-2386

http://www.iwatesokkisya.com/ E-mail:info@iwatesokkisya.co.jp/

## レーザー搭載型トータルステーション

# GTL-1000



- トータルステーション測量とレーザーキャナー計測が1台で可能
- 1台2役だから測量・計測が速い
- 高い結合精度でズレのない3D点群データを素早く自動作成
- BIMによる施工管理に最適
- 土木・測量・維持管理にも威力発揮
- オンボードプログラム MAGNET Field 搭載
- コントローラで遠隔操作も可能



1台2役だから  
測量・計測が速い!

投資コスト 削減 ✕ 作業時間 削減 ✕ 作業人員 削減

3Dレーザー  
スキャナー

自動追尾  
トータルステーション



## iXseries

世界最速!  
世界最少!  
世界最軽量!  
世界初のIoTへ対応!  
クラス最高品質!



## GCX3

測量作業を軽快にする!  
手のひらサイズのGNSS受信機

- 世界最小・最軽量! アンテナ一体型GNSS受信機。
- マグネシウム合金を採用。強靱なボディ。IP67
- 優れた受信性能のPOST2mmアンテナ採用。
- GPS/GLONASS/QZSS/BeiDou/Galileo 受信可能。
- LongRangeデータコミュニケーション機能により、300mのネットワーク型RTK観測が可能。
- 10時間駆動バッテリー内蔵。



測量機器・システムの販売からレンタル、メンテナンス、校正まで

JSIMA 認定店  
(株)トプコンソキア ポジショニングジャパンビジネスパートナー店 Sales Partner

**ISK 株式会社 岩手測器社**

■ TEL:019-613-2387  
■ FAX:019-613-2386  
■ <http://www.iwatesokkisy.com/>  
■ E-mail:info@iwatesokkisy.co.jp/



【新シリーズ2021年11月刊行！】



不動産登記  
書式解説の  
決定版！

# 不動産登記の 書式と解説

## 第1巻 土地の表示に関する登記

不動産登記実務研究会 著

2021年11月刊 A5判 328頁(予定) 定価3,850円(本体3,500円)

- 昭和26年創刊以来ご愛顧いただき、令和3年2月に休刊となった加除式図書「現行登記総覧 不動産登記の書式と解説」を単行本としてリニューアル！
- 約70年の中で蓄積されてきた不動産登記の知識を、より丁寧に、分かりやすく解説、新たな情報も追加！
- 充実の35事例！事例ごとに解説、申請書、添付書類、不動産登記記録例（平成28年6月8日法務省民二第386号民事局長通達）を収録！

【10年ぶり、待望の改訂版！】

昭和61年の初版以降、実務家から絶大な支持を得て版を重ねるロングセラー



全訂  
第三版

# 相続における 戸籍の見方と登記手続

高妻新・荒木文明・後藤浩平 著

2021年11月刊 A5判上製箱入 1,624頁 定価15,400円(本体14,000円)

### 【本書のポイント】

- 相続適格者認定上必須の戸籍の見方を、ひな形、図表とともに191問のQ&Aでわかりやすく解説。
- 相続登記について、申請書等のひな形を示してわかりやすく解説し53事例を収録。
- 事項索引を収録。

### 【改訂のポイント】

- 未成年後見制度の見直しや嫡出でない子の相続分を嫡出子と同等しいものとする「民法等の一部を改正する法律」及び「家事事件手続法」の施行等について反映。
- 新たに「法定相続情報証明制度における被相続人と相続人の戸籍」を設け、制度全般と相続手続等について詳細に解説。
- 戸籍のコンピュータ化に伴い、遺産分割協議書やその他の書類が必要となる登記手続においては、従来の手続きが一部変更されることになるため、登記解説部分にそれらを反映。



日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 www.kajo.co.jp  
TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061(営業部) ツイッターID:@nihonkajo

ケガや病気による  
入院・通院に  
備えておきたいな。

団体総合生活補償保険が  
お役に立ちます！

登記誤りを起こして  
しまい、顧客から  
損害賠償請求を  
受けてしまった。

土地家屋調査士賠償責任保険が  
お役に立ちます！

土地家屋調査士を  
取り巻く  
さまざまなリスク  
その時  
お役に立ちます！



所得補償保険がお役に立ちます！

測量機器総合保険  
(動産総合保険)がお役に立ちます！

ケガや病気で入院。  
その間の収入を  
どうしよう。。。

測量中にうっかり  
測量機器を破  
損してしまった。

※このチラシは保険の特徴を説明したものです。詳細は商品パンフレットをご覧ください。

【お問合わせ先】

<代理店・扱者> 有限会社 桐栄サービス TEL.03(5282)5166

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1丁目2番10号 土地家屋調査士会館6階

<引受保険会社> 三井住友海上火災保険株式会社 TEL.03(3259)6692

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 広域法人部営業第一課



# Trimble TCU5

使い慣れた着脱式スタイルで  
スムーズにワンマン/ツーマン観測

一体型？それとも手持ちタイプ？

Trimble S シリーズは観測スタイルに合わせてコントローラーが選べます！

横向きでも縦向きでも使える  
視認性も操作性も抜群なハンディタイプ

## FZ-N1



**efitOne**

Android OS 対応！

Trimble S シリーズ専用コントローラーソフトウェア

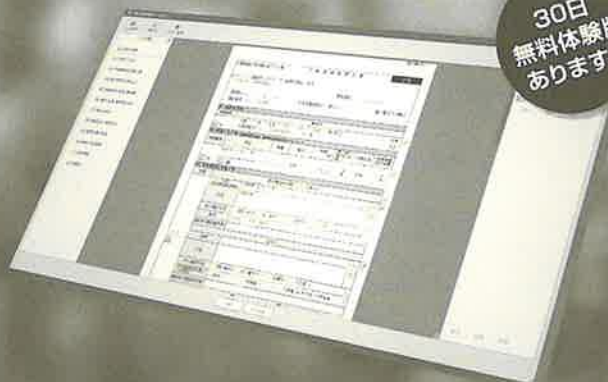
お問い合わせ先

株式会社トリンプルパートナーズ東北

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通 2-8-24 MK ビル 2F

TEL : 019-652-4477 FAX : 019-652-4488 URL : <http://www.tp-touhoku.com/>

# 全国の土地家屋調査士の業務を、 ソフトウェアで幅広くサポートしています。



30日  
無料体験版  
あります!



測量CADシステム【トレンドワン】

TREND-ONE (トレンドワン) は、強力な64bitアプリケーションの測量CADシステム。公共測量や土地家屋調査士業務で必要とされる各種計算や作図機能などを備えており、国内シェアNo.1の測量CADです。



土地家屋調査士業務支援システム【トレンドレックス】



TREND REX (トレンドレックス) は、不動産表示登記業務に必要な各種書類の作成(登記申請書・委任状・不動産調査報告書等)から、事件管理・顧客管理・立会の管理といった一連の調査士業務を支援します。

## 二つのシステムが連携し、土地家屋調査士業務を効率化します。

受託・事件管理

情報収集

調査・測量・図面作成

書面作成

調査報告書

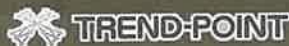
登記申請書

オンライン申請

報酬額計算

### さらに! 公図などの資料と、現況の点群をCAD上で重ねて活用!

ドローン等で取得した点群データを取り込み、ストレスなく編集ができる3D点群処理システムTREND-POINT (トレンドポイント)。TREND-ONEとの連携で「重ね図」にも活用できます。



3D点群処理システム【トレンドポイント】







【会報 黎明 第86号】 令和4年1月1日（年1回発行）（株）橋本印刷